

2 0 0 4

授業概要

【シラバス】

教養科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN COLLEGE

目次(教養科)

現代保育教養コース(1年)教養教育科目

ヒューマニズム論	3
総合科目・人間	4
総合科目・生命	5
現代とヒューマニズムⅠ(近代国家と戦争)	6
現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	7
現代とヒューマニズムⅢ(科学技術と生命)	8
人物研究Ⅰ(和泉式部)	9
人物研究Ⅱ(柳田国男)	10
人物研究Ⅲ(有島武郎)	11
心理学入門Ⅰ(心のしくみ)	12
心理学入門Ⅱ(性格と人間関係)	13
体の不思議	14
生物の世界と人間	15
人間と環境	16
生と死を考える	17
人間の生と性	18
生活と健康	19
教養体育(実技)	20~21
教養体育(講義)	22
外国語Ⅰ(英語)	23
外国語Ⅰ(中国語)	24
外国語Ⅰ(仏語)	25
外国語Ⅰ(独語)	26
外国語Ⅱ(英語)	27
外国語Ⅱ(中国語)	28
外国語Ⅱ(仏語)	29
外国語Ⅱ(独語)	30
海外語学研修	31
選択外国語英会話(基礎)	32
選択外国語ビジネス英語	33
選択外国語時事英語	34
選択外国語異文化コミュニケーション	35
言語とコミュニケーション	36
手話入門	37
文学芸術・フィクションと人間	38
造形美術とイメージーション	39
話し言葉の伝承	40
絵本・絵巻と物語表現	41
源氏物語の世界	42
近現代の日本文学	43
庶民の生活文化	44
現代の文化と風俗	45
現代英米の文学	46
世界の児童文学	47
比較文化論・近代文明と日本人	48

国境を越える民俗学	49
現代社会と人権	50
憲法と私たち(日本国憲法)	51
日本とアジアの近現代史	52
社会福祉の考え方	53
男と女・ジェンダーを考える	54
現代世界とマイノリティー	55
女性労働の問題	56
地域生活と家族	57

現代保育教養コース(1年)専門科目

基礎ゼミナール	61
日本語の表現	62
情報科学(情報処理入門)	63
保育内容・指導法演習	64
現場で学ぶ幼児教育	65

現代保育教養コース(1年)他科開講科目

生理心理学	69
-------	----

現代教養コース(1年)専門科目

ゼミナールⅠ	73~74
現場で見る文芸	75
歴史・民俗遺跡を歩く	76
博物館の現場(博物館実習)	77
日本語の表現	78
ヒューマニズム論	3
総合科目・人間	4
総合科目・生命	5
現代とヒューマニズムⅠ(近代国家と戦争)	6
現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	7
現代とヒューマニズムⅢ(科学技術と生命)	8
人物研究Ⅰ(和泉式部)	9
人物研究Ⅱ(柳田国男)	10
人物研究Ⅲ(有島武郎)	11
情報科学(情報処理入門)	63
コンピュータ基礎演習	79
言語とコミュニケーション	36
外国語Ⅰ(英語)	23
外国語Ⅰ(中国語)	24
外国語Ⅰ(仏語)	25
外国語Ⅰ(独語)	26
外国語Ⅱ(英語)	27
外国語Ⅱ(中国語)	28

外国語Ⅱ(仏語)	29
外国語Ⅱ(独語)	30
海外語学研修	31
選択外国語英会話(基礎)	32
選択外国語ビジネス英語	33
選択外国語時事英語	34
選択外国語異文化コミュニケーション	35
造形美術とイマジネーション	39
手話入門	37
文学芸術・フィクションと人間	38
話し言葉の伝承	40
絵本・絵巻と物語表現	41
源氏物語の世界	42
比較文化論・近代文明と日本人	48
近現代の日本文学	43
現代英米の文学	46
世界の児童文学	47
考古学の世界	80
国境を越える民俗学	49
日本とアジアの近現代史	52
近代女性史	81
社会福祉の考え方	53
家族福祉論	82
地域生活と家族	57
男と女・ジェンダーを考える	54
女性労働の問題	56
現代社会と人権	50
憲法と私たち(日本国憲法)	51
現代世界とマイノリティー	55
現代の企業	83
時事・社会特講	84
家庭介護総論	85
家庭介護演習	86
家庭介護実習	87
教育学概論	88
庶民の生活文化	44
現代の文化と風俗	45
博物館を学ぶ	89
心理学入門Ⅰ(心のしくみ)	12
心理学入門Ⅱ(性格と人間関係)	13
体の不思議	14
生物の世界と人間	15
人間と環境	16
生活と健康	19
生と死を考える	17
人間の生と性	18
労働・健康特講	90

教養体育(実技)	20~21
教養体育(講義)	22

現代保育教養コース(2年)教養教育科目

海外語学研修	31
選択外国語英会話(応用)	93
選択外国語フランス語会話	94
選択外国語ドイツ語会話	95
選択外国語英文購読	96

現代保育教養コース(2年)専門科目

メディア社会と子ども	99
子どもの歴史	100
子育て支援論	101
子どもと人権	102
多文化社会と子ども	103
児童文学の世界	104
女性労働と子育て	105
うた・おとの世界	106
幼児の身体表現	107
運動遊びの指導	108
伝承遊び入門	109
幼児の絵画指導	110
遊びの造形	111
児童文化演習	112
児童文学演習	113
保育内容・指導法演習	114

現代保育教養コース(2年)他科開講科目

カウンセリング	117
障害児心理学	118

現代教養コース(2年)専門科目

ゼミナールⅡ	121~122
卒業研究	123
博物館の現場(博物館実習)	124
ビジネスの現場	125
ヒューマニズム論	3
総合科目・人間	4
総合科目・生命	5
現代とヒューマニズムⅠ(近代国家と戦争)	6
現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	7
現代とヒューマニズムⅢ(科学技術と生命)	8

人物研究Ⅰ(和泉式部)	9
人物研究Ⅱ(柳田国男)	10
人物研究Ⅲ(有島武郎)	11
情報ネットワーク論	126
視聴覚教育メディア論	127
言語とコミュニケーション	36
海外語学研修	31
応用英語Ⅰ	128
応用英語Ⅱ	129
選択外国語英会話(応用)	93
選択外国語フランス語会話	94
選択外国語ドイツ語会話	95
選択外国語英文購読	96
選択外国語ビジネス英語	33
選択外国語時事英語	34
選択外国語異文化コミュニケーション	35
造形美術とイマジネーション	39
手話入門	37
文学芸術・フィクションと人間	38
話し言葉の伝承	40
絵本・絵巻と物語表現	41
源氏物語の世界	42
児童文学の世界	130
比較文化論・近代文明と日本人	48
近現代の日本文学	43
現代英米の文学	46
世界の児童文学	47
国境を越える民俗学	49
日本とアジアの近現代史	52
社会福祉の考え方	53
地域生活と家族	57
男と女・ジェンダーを考える	54
女性労働の問題	56
現代社会と人権	50
憲法と私たち(日本国憲法)	51
現代世界とマイノリティー	55
ビジネス実務を知る	131
家庭介護総論	85
家庭介護演習	86
家庭介護実習	87
子育て支援論	101
多文化社会と子ども	103
生涯学習概論	132
庶民の生活文化	44
現代の文化と風俗	45
心理学入門Ⅰ(心のしくみ)	12
心理学入門Ⅱ(性格と人間関係)	13

体の不思議	14
生物の世界と人間	15
人間と環境	16
生活と健康	19
生と死を考える	17
人間の生と性	18

現代保育教養コース
教養教育科目（1年）

【授業科目】 ヒューマニズム論	
【開講期】 前期	【担当者】 栗田廣美
<p>【授業目標】 「ヒューマニズム」とは、「<u>人間の価値を第一と考え、人間が最高で、人間性こそ尊重すべきもの</u>」だとする、態度・思想傾向・世界観」のことだと、説明されている（「岩波国語辞典」）。 そして、この「ヒューマニズム」——「人間を愛し、人間の価値を最高度の実現しようとするヒューマニズムの精神」を、<u>白梅学園短大は「建学の理念」としている</u>（『学生便覧』等）。</p> <p>しかし、<u>なぜ「人間の価値」が「第一」なのだろう。なぜ「人間性こそ尊重すべき」なのだろう。なぜ「人間を大切にすべき」なのだろう。</u>言い方を換えれば、<u>なぜ、「ヒューマニズム」は「正しい」の</u>だろう。——「人間を大切にするのはアタリマエだ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。そういう発想は「<u>世間的通念に流されているだけ</u>」なのではないか。 「人間中心主義」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に「人間の支え」になりうるのか。<u>つまり、「現代におけるヒューマニズム」は可能な</u>のか。「ヒューマニズムの精神＝建学の理念」も、自由な立場で検証されなければならない。</p> <p>本講では、このような「問いかけ」を大切に、有島武郎等の「実例」にも触れながら、「近代以後の人間のあり方」を考えることを出発点に、現在、<u>何によって人間が圧迫されているか、何に抗って「人間を大切に</u>するか、という問題に迫っていきたいと思っている（たぶん「明瞭な結論」は出ないだろうが）。——大学生になった諸君が、知的に、根源的に「自分自身と世界」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。 大切なことは「知識」や「結論」ではない。疑問を持つこと、考えること。 諸君の中に「問題意識」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>◆ <u>授業中の「私語・内職」はもとより「よそ見・ぼんやり」も厳禁する。</u> これらの行為は教室の「空気」を乱し、「ライブとしての授業」に必要な「ピーンと張りつめた緊張感」を崩し、その結果「授業のレベル」を下げて、そのことで、真面目に学ぼうとする学生の迷惑になるからである。<u>注意に従わぬ学生は追放し、以後の受講を認めない。</u></p> <p>◆ 「実習」や、病気・不慮の事態以外は、<u>一度も休まずに出席することが大切。</u> 病気等やむをえぬ理由でも、実授業数の2/3以上出席していなければ受験資格は与えない。</p> <p>◎ <u>講義を「全身全霊で聞き・感じ取り・考えようとする態度」があれば大丈夫</u>（無ければダメ）。「板書」は、ほとんどしない。「黒板写し型勉強」から脱却しよう。何よりも、話をよく聞いて、その場で「感じ」、その場で「考え」、その場で「理解できるだけ理解してしまう」ことが大切。——ノートを取るべきポイント等は、授業中に指摘するから、安心して大丈夫。内容的には、予備知識が無くても、最低限必要なことは「分かる」はずだ。</p> <p>おおむね、以下の順序で講義する予定（諸君の問題意識や理解度によって途中変更あり）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「根源的（ラディカル）に考える」態度について <ol style="list-style-type: none"> ①「根源的に問う」こと ②「自己」と「世界」 ③何が「人間」を価値づけるか——「神のある世界」と「神の無い世界」（有島武郎等） 2 我々の状況——近代における「人間」の問題 <ol style="list-style-type: none"> ①近代と前近代——「人間」の問題として ②「神・超越性」と近代人（有島武郎等） ③近代的「人間」観と、その問題点 ④「近代ヒューマニズム思想」について ⑤何に抗って「人間を大切に」するのか 3 現代の状況と人間 ①「国家」と人間 ②「資本」と人間 <p>【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、記述式テストを行う。それと、出席点を加味して評価する。ノートをしっかり取っていることが大切だ。</p>	

【授業科目】 総合科目・人間	「言語活動と人間」
【開講期】 前期	【担当者】 東・中島・佐々
<p>【授業目標】</p> <p>東：人間とことば。</p> <p>中島：文学作品を通して、言語が人と人との関係をどのように作り出しているかを見る。</p> <p>佐々：生活の中で生きていく言語を扱い、その方向を探れるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>東・中島：プリントを使用 佐々：使用しない。適宜プリントを配布する</p> <hr/> <p>【参考書】 東・中島：授業中に紹介する</p> <p>佐々：筆者の著書『コミュニケーション能力弱者のQOL 援助』ほか</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>東→中島→佐々 の順で授業する。</p> <p>東：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人類の起源と言葉の創造 (2) ことばの役割 (3) ことばの功罪 (4) 「場」の民主性と言語表現 <p>中島：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 『ジョイ・ラック・クラブ』に見る、世代間の言語と言語間の強弱 (2) 欲望と権力：『ソフィーの選択』（アウシュヴィッツ） (3) 沈黙と歴史：『ピラヴド』（アメリカ黒人奴隷制） (4) まとめとして：作家の言語（『月と六ペンス』） <p>佐々：計画</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ことばの正体を探る (2) 見えないことばを読む (3) ことばを育てる筋道を考える (4) ことばを育むプログラムの検討 	
<p>【評価方法】 東：ペーパーテスト（60分）実施（参照可）。</p> <p>中島：出席点とレポート</p> <p>佐々：平常点の重視、レポートによる評価</p>	

【授業科目】総合科目・生命	
【開講期】後期	【担当者】明渡陽子・近藤正樹・柳下登
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。</p> <p>20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学を background にもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柳下登：プリントを使用 近藤正樹 明渡陽子：プリントを使用</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>柳下登：どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎（新日本出版社）生命の塵 植田充美訳（翔泳社）自然の恩恵をひきだすために 柳下登（たたら書房）遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登（本の泉社）</p> <p>近藤正樹 明渡陽子：生命とは何か（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命とはなにか：明渡陽子 2. 生命の由来（物質の由来・太陽系・地球・生命体）：柳下登 3. 地球生物と進化：柳下登 4. 地球生物と環境：近藤正樹 5. 地球生物と種の保存（自己保存・自己増殖・自動制御）：近藤正樹 6. 生命科学の誕生と生命：明渡陽子 7. 21世紀の課題：生命はどこへゆくのか。（それぞれの専門分野から） 柳下登 近藤正樹 明渡陽子 	
<p>【評価方法】</p> <p>柳下登：出席状況と筆記テスト 近藤正樹 明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズムⅠ (近代国家と戦争)	
【開講期】 1年前期	【担当者】 平賀明彦
<p>【授業目標】</p> <p>近代・現代の戦争と平和の問題を通してヒューマニズムについて考える。戦争発生メカニズムを探る中で、あらためて平和の意味を考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるということはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、それへの対応として起こされたイラクでの戦争が果たして適切であったのか。暴力の連鎖が何を生み出し、また、私たちの現在と未来に何をもたらすのかを考えてみるのが重要ながかりとなるだろう。</p> <p>現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題は、そういったこととどのような関係があるのかといった点からも検討を深める必要がある。また、戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。</p> <p>戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。</p> <p>以下のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇同時多発テロは何故起きたかー歴史的経過を探る意味 ◇報復戦争の意味するものーテロへの対応は「戦争」か ◇近・現代の戦争、地域紛争とその原因ー民族、宗教、「文明の対立」を検討する ◇国民国家形成とナショナリズムーフランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合 ◇近代の平和思想の歴史ー『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜 ◇不戦への挑戦、その可能性はー日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える ◇構造的暴力の問題ー貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造 ◇平和への課題ー人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	
【開講期】前期	【担当者】 八田恵子
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの日常的な行為である消費を学問として、歴史的な観点から見ていく。それにより大衆消費社会における消費者としての客観的な視点を養いたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない。必要に応じ資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>私たちは大衆消費社会の中に生きている。大衆消費社会とは一握りの金持ちの好みによりモノが作られ、消費されるのではなく、「豊かな社会」に生きる大衆が大きな購買力(モノを買う力)を持ち、大衆の好みによりモノが大量に生産される社会である。私たち(大衆)は日々の生活の中であれが欲しい、これが欲しいとモノを買っているが、それは果たして本当に欲しいモノなのか。</p> <p>私たちにあるモノを欲しいと思わせる消費のしくみや消費社会の成立、消費革命の進展を時代を追いながら見ていく。</p> <p>その際、手がかりとして</p> <ul style="list-style-type: none"> デパートを中心とした流行の創出 室内装飾、家具の販売による生活スタイルの商品化 食の変化 レジャーの広がり 等々の <p>具体的事例を出来るだけ見て生きたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と学期末の試験あるいはレポートの結果で評価。試験の場合はノート、プリント等参照可。</p>	

<p>【授業科目】現代とヒューマニズム III (科学技術と生命)</p>	
<p>【開講期】前期</p>	<p>【担当者】明渡陽子・柳下登</p>
<p>【授業目標】 高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ること、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。</p>	
<p>【テキスト】 柳下登 : プリントを使用 明渡陽子 : プリントを使用</p>	
<p>【参考書】 柳下登 : 新編自然科学入門 甲斐義幸 (学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了 (岩波書店) 世界のたね E. ニュート (NHK 出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら (本の泉社) 明渡陽子 : 上記の参考書類の中のどれか。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のテーマに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か 2. 科学技術はどのように生まれたか (発想・思考の原点) 3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか (発想・思考の作用ベクトル方向) 4. 近代科学 (天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など) と科学技術の発展との相互作用 5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影— 6. 人間生命と科学技術のゆくえ 	
<p>【評価方法】 柳下登 : 出席状況と筆記テスト 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 人物研究 I [和泉式部]	
【開講期】 後期	【担当者】 久保木 寿子
<p>【授業目標】紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。 和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」（百人一首）や「黒髪<small>の</small>乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。 時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追い、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>	
<p>【テキスト】 近藤みゆき 訳注『和泉式部日記』（角川文庫） 他に、プリントを配布</p>	
<p>【参考書】 山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館 増田繁夫著 『冥き途—和泉式部伝—』世界文化社 清水好子著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社 久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 悪女の評判さまざま すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。 2. 実人生を辿る 少女期の環境 最初の結婚と破綻 冷泉皇子兄弟との恋愛と死別 後宮出仕 再婚 娘との死別 3. 実体験と和歌表現 4. 恋歌と死の歌のあいまい 恋歌を超える眼差し 5. 実存のテーマと方法 和歌の時空 「自己客体視」の方法 連作の方法 6. 歌集と日記 7. 仏教的心性の問題 8. 和泉式部和歌の評価をめぐる問題 <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】人物研究Ⅱ〔柳田国男〕	
【開講期】1・2年後期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】柳田(旧姓・松岡)国男<明治8年—昭和37年>は、貧しい医師の子として、兵庫県神崎郡福崎町で生まれた。大学を卒業してのち、彼はそれまで問題にもされなかった民衆の生活と文化を調査・研究し、日本民俗学の基礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。</p>	
<p>【テキスト】資料プリント集を配布する。スライド・ビデオ上映。</p>	
<p>【参考書】中村哲『柳田国男の思想』(法政大学出版局刊)・谷川健一『柳田国男の民俗学』(岩波新書)・鹿野政直『近代日本の民間学』(岩波新書)</p>	
授 業 計 画	
<p><u>講義概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>生いたち</u> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本一小さい家」-----松岡家の一つの不幸。 ・利根川畔・布川徳満寺絵馬の衝撃-----経世済民の志 2. <u>就学と詩人松岡国男</u> <ul style="list-style-type: none"> ・伊良湖岬への旅と島崎藤村「椰子の実」 3. <u>民俗学の夜明け</u> <ul style="list-style-type: none"> ・農政学から民俗学へ -----『後狩詞記』・『遠野物語』 4. <u>官界から言論界へ</u> <ul style="list-style-type: none"> ・旅と学問-----大正デモクラシーと民衆文化の発掘。 5. <u>日本民俗学の確立</u> <ul style="list-style-type: none"> ・『海上の道』-----壮大なる仮説-----日本民族の南方起源説。 6. <u>まとめ</u>-----柳田の学問と思想は「近代」を超えることができるか。 	
<p>【評価方法】定期試験時のペーパー・テスト(資料プリント集・ノート・参考書等参照可)</p>	

【授業科目】 人物研究Ⅲ〔有島武郎〕	
【開講期】 後期	【担当者】 栗田廣美
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。 有島武郎（ありしま・たけお、1878-1923）という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見つめ、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。 自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。 アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見つめ「新たな人間らしい文明」を求めつづけた有島。 ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。 日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺（心中）＝挫折（玉砕）」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
<p>【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 高原二郎著『人と作品・有島武郎』清水書院 刊 栗田廣美著『死と飛躍・有島武郎の青春』右文（ゆうぶん）書院 刊 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』右文（ゆうぶん）書院 刊 ——本学図書館に何冊か置いてもらう予定。近所の公立図書館にも、どしどし「リクエスト」しよう！</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>おおむね以下のような順序（最大限進んだ場合）を予定しているが、「予定」に縛られるのではなく、可能な限り諸君との（毎回提出の「ポイント・メモ」等を利用した）意見交換を重視しつつ臨機応変に展開し、問題意識が「盛り上がり」きたら、その部分に思い切って集中する等、途中で変更することもある（例えば昨年度は「1の②」に集中し、2～3は割愛した）。</p> <p>大切なことは「知識をまんべんなく獲得する」ことではなく、「有島武郎」という「具体的な人物」の研究を通して、「人間」を考えることであり、以下は、その「様々な切り口」なのだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生い立ちと、札幌での青春 <ol style="list-style-type: none"> ①「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。 ②「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信 ③「家」と「国家」——反抗と訣別 2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成 <ol style="list-style-type: none"> ①「アメリカ＝巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧 ②キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成 ③中世ヨーロッパと「自由なコンミュン」への憧れ 3 日本での闘いと挫折 <ol style="list-style-type: none"> ①芸術・思想・革命・自由 ②農場解放の理想と現実 ③恋愛と死 <p>◆ 授業中の「私語・内職・よそ見」等厳禁。 ◆ 「実習」や病気・不慮の事態以外は「一度も休まずに出席すること」が大切。 ◆ 「全身全霊で聞き、感じ取り、考えようとする態度」があれば大丈夫（無ければダメ）。 ◎ 「板書」はほとんどしない。「黒板写し型勉強」から脱却しよう。ノートすべきポイント等は授業中に指導するから大丈夫。真面目に出席して、（僕の指摘を受けつつ）ノートをしっかり取って聞いていれば、（予備知識が全く無くて）十分、分かるはずだ。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。しっかりノートをとって、講義を聴いていけば大丈夫。出席点を加味して総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅰ〔心のしくみ〕	
【開講期】 1年前期	【担当者】 佐久間路子
<p>【授業目標】</p> <p>心理学は、心に対してさまざまな方向からアプローチする学問である。この授業では心理学の各分野に関して、具体的に身近な例をあげて概説していく。日常生活の中で感じる心の不思議について考え、心のしくみへの理解を深めてもらいたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>齊藤勇 『イラストレート心理学入門』 誠信書房 菊池聡・谷口高士・宮元博章編著 『不思議現象なぜ信じるのか：こころの科学入門』 北大路書房 そのほか授業中に適宜指示する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>心理学の各分野に関して、資料、ビデオを用いて概説する。簡単な実験や実習も行う予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学とは 2. 知覚 3. 学習・記憶 4. 子どものこころの発達 5. 青年のこころの発達 6. 無意識と深層の心理 7. 性格と性格検査 8. 臨床心理学とカウンセリング 9. 社会心理学 10. こころに関する諸問題 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小レポート、期末筆記試験をもとに総合的に評価する</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅱ〔性格と人間関係〕	
【開講期】 前期	【担当者】 林 潔
<p>【授業目標】</p> <p>サブタイトル <性格と人間関係></p> <p>心理学の領域では、性格心理学と社会心理学の一部にあたります。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>いろいろな人がいますね。 同じ事についても受け取り方は、人によってさまざまです。 どうしてなのでしょうか。 なぜ人は、その人なりのやり方で行動するようになるのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 性格は変わるか？ 2. 行動についての心理学の見方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経験を重視する (2) ものの見方を重視する (3) 過去の経験、特に幼児期の経験を重視する 精神分析の考え方の紹介です。 3. 「血液型と性格」はあたるの？ 4. 今日の性格についての考え方 体格と性格 内向／外向 心臓疾患と性格 ガンと性格 5. 「性格の問題」へのとりくみ 6. 人間関係について考える <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。 hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、指定図書レポート、期末試験で評価します。</p>	

【授業科目】 体の不思議	
【開講期】 1年後期	【担当者】 近藤正樹
<p>【授業目標】</p> <p>ヒトの体のしくみについて、構造と機能の両面から解説し、栄養・生殖・行動の法則性を要約する。全体の恒常性・協調性を演出する情報物質（ホルモンや溶解性物質）の濃度や神経（電極パルス）、個体間の交信情報のあり方（言語系交信 視覚系交信 化学物質交信など）にもふれて、「体」といわれる独立体が持つ総合性・統一性に一層関心をもってもらう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用せず</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 生命の最小単位が持っている不思議 細胞の構造と細胞内器官の構造——その役割 極限まで単純化された細胞——寄生に見られた退化のみちすじ、結晶体とまでいわれる生物「生物」の概念</p> <p>2. 体を構成している部品の構造と機能 栄養系器官の構造と機能——肥満と生長——老化 生殖系器官の構造と機能——性の分化と子孫繁栄 神経・筋の構造と機能——感覚と認知と行動</p> <p>3. 外界からのしげきとその受容 温度に対する体の反応——定温動物と変態生物 明るさに対する体の反応——前経験のわざわい、光周性と体内時計 受容器にも全体区と地方区がある だまされる受容器</p> <p>4. 異物侵入に対する防衛 異物をすてる 異物を分解する 異物を借用する 異物をとじこめる アレルギーと免疫 人体に有害な物質と濃度——人間はどこまで体をだませるか</p> <p>5. 生殖の不思議 細胞の若返り 卵の不思議・精子の不思議 性行動は本来備わっているものなのか 意志のいたずら</p> <p>6. 交信 言語 シンボルによる交信 表情 筋肉反応による交信 フェロモン 化学物質による交信</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>持込不可のペーパーテストを行なう。一章ごとにまとめておく（復習）が大切</p>	

【授業科目】 生物の世界と人間	
【開講期】 1年前期	【担当者】 近藤正樹
<p>【授業目標】</p> <p>人間は生き物（生物）の一種にすぎません。パスカル（哲学者）が言ったように「考える」ことのできる生物です。生物としての共通点とヒト（生物の一種）としての特異点を再確認した上で私たち「人間」の生き方を見直していくことを主な目標としています。その中で科学的な考え方、態度にふれて頭の使い方の練習（思考訓練）も上達するようにします。</p>	
<p>【テキスト】 なし</p>	
<p>【参考書】 なし</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 生物と無生物 気体の世界、流体の世界、流体という考え方、固体と結晶、ポーリング説を展開して</p> <p>2. 生物の紀元 ①流体の中での変性、高分子化への道、solとgel、表面膜の特化 ②単純から複雑へ、未分化から分化へ、発達と退化</p> <p>3. 生物の種類と分類 分類すること、系統分類法、世界共通の名称（学名）世界で繁栄した生物とその原因</p> <p>4. 個体維持と種族維持</p> <p>5. 集団（個体群）としての人間集団</p> <p>6. 集団（群集）の中の人間の位置と役割</p> <p>7. 昆虫の社会と高等動物の社会</p> <p>8. 動物の社会と人間の社会</p> <p>9. 「考える」動物としての長所と限界</p> <p>10. 人間はこれから何を努力しなければならないか</p>	
<p>【評価方法】 レポートと定期試験</p>	

【授業科目】 人間と環境	
【開講期】 後 期	【担当者】 吉川 研二
<p>【授業目標】</p> <p>35億年前の海の中で最初の原始生物が誕生したといわれている。以後、地球環境の全体システムは、様々な生物と密接に関係しながらいく度かの大変革を経て現在の姿を作りあげてきた。私たち人間を含めた地球上のあらゆる生物は、周囲の大気や水や土壌といった環境と微妙な均衡を保ちながら生活しているのである。</p> <p>様々な環境汚染、自然破壊、種の消滅などは、このシステム全体の単純化につながり、ヒトの生存をも危うくする。私たちひとりひとりの生活のあり方が問われている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントなど</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 宇宙の中の地球 宇宙のこと 銀河系のこと 太陽系のこと そして地球 2. 地球環境の変遷 原始地球の姿 生命の誕生 生物の進化と地球環境 3. 地球環境系と生命 生命を育む天体地球 地球を作る物質 太陽エネルギー 大気の働き 水の働き 二酸化炭素やオゾンなど化学物質の働き 4. 生態系の構造と機能 生態系とは 非生物的要素と生物の群集 物質の循環とエネルギーの流れ 5. 地球環境悪化と生態系 地球温暖化 温室効果ガス・温暖化の影響 森林の現象 熱帯雨林の破壊と生物の多様性の崩壊 様々な人工化学物質の氾濫 環境ホルモン 水の汚染・大気の汚染・土壌の汚染 オゾン層の破壊 紫外線と生物 6. 生活の中の環境問題 資源 消費 廃棄 自然生態系でのリサイクル 人工生態系でのリサイクル 7. ふたつのエコ 環境倫理 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点＋期末筆記試験</p>	

【授業科目】 生と死を考える	
【開講期】 前期	【担当者】 嶋根 久子
<p>【授業目標】</p> <p>人は自分の死ばかりでなく、近しい人の死に直面したときにも、生きているという実感を一層強く持つといわれています。しかしながら、核家族化の進行や、寿命の飛躍的な伸び、加えて死を病院で迎えることが多くなった昨今、われわれは死を身近に体験する機会が非常に減少しています。したがって、この授業では、人のもつ「追体験」という能力をフルに活用して、より充実した生を目指して、さまざまな角度からしについて考えてみたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】『死ぬ瞬間』キューブラ・ロス著、読売新聞社、『生と死を考える』A・デーケン著、春秋社、『死の社会学』副田義也編、岩波書店、『現代、死にふれて生きる』リフトン、有信社</p>	
授 業 計 画	
<p>1 死を年代別に見る。 ①子供の死、②青年期の死、③壮年期の死、④高齢者の死</p> <p>2 死の諸相 ①病死、②事故死、③災害に於ける死、④自死、⑤自然死</p> <p>3 家族と看護、あるいは死の看取り。 ①死の諸相による家族への影響、②子供の死、③親の死、④高齢者の死、⑤配偶者の死</p> <p>4 死者の年代別にみた、残される家族の問題。 ①配偶者の死、②子供の死、③親の死</p> <p>5 死の受容の諸形態。 ①死にゆく人、②残された家族</p> <p>以上のテーマについて、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進める。</p>	
<p>【評価方法】 小さなレポートを4回、中間期(5月)と試験時期に本を読んでレポートを提出。それらを合計して評価する。</p>	

【授業科目】 人間の生と性	
【開講期】 1・2年 後期	【担当者】 関口久志
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー（社会的文化的性）や旧来の規範にとらわれて呪縛から逃れられない日本の性の現状を考え、80年代の市場経済万能論の台頭により消費目的化される性の問題から現代日本社会を照射することで、ジェンダーや規範を乗り越え、男女と性的マイノリティー（同性愛者、性同一性障害等）も含め自己の性的アイデンティティーを肯定的に受け止め、誰もが対等平等に、安全と安心のための行動選択ができる自己決定力を身につける性教育を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>村瀬幸浩著 「ニューセクソロジーノート」 十学舎</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p> <p>関口久志他共著 「日本の男はどこに来て、どこへ行くのか」 十学舎</p> <p>関口久志他共著 「ジェンダーフリー・性教育バッシングそこが知りたい50のQ&A」 大月書店</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 性の疑問・悩みを出し合う。 2. 性の多様性、生物的性（セックス）とジェンダー、性的指向。 3. 性別役割論によってつくられてきた男らしさ女らしさと性的関係。 4. 現代若者の性行動を性感染症と人工妊娠中絶の増加等から考える。 5. 安心と安全の関係づくりを避妊と性感染予防から考える。 6. 男性優位の行為としてのレイプ、セクハラ、性的暴力を考える。 7. 買春と売春行為を考える。 8. 性的マイノリティーを通して、性の普遍性と多様性から現代社会を考える。 9. コミュニケーションとしての性を考える。 10. メディアとジェンダー形成、特に男性形成を考える。 11. 戦争文化とジェンダー形成を考える。 12. 講義のまとめ。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席時数と毎回の意見・感想文 および 最終レポート</p>	

【授業科目】生活と健康	
【開講期】後期	【担当者】明渡陽子
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康の定義 ② 個人・集団の健康指標 ③ 健康成立条件（vs 疾病とは＝疾病の成り立ちと疾病予防の段階・対策など） 2. 高齢社会とわが国の健康水準 3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など） ②アレルギー疾患 ③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等） 4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> ① 食事 ② 運動 ③ 休養とストレス ④ 飲酒・喫煙の健康への影響について 5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について） 6. わが国の保健医療体制 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 教養体育(実技)	バドミントン
【開講期】 1年前期	【担当者】 松岡由紀子
【授業目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・ 運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】 使用しない。	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
【バドミントン】 技能練習とゲーム <ol style="list-style-type: none"> 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォアハンドストローク ・ バックハンドストローク ・ クリアー (ハイクリアー) ・ ドロップ ・ ドライブ ・ ヘアピン ・ プッシュ ・ スマッシュ 3、サービスの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ ロングハイサービス ・ ショートサービス 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 <ul style="list-style-type: none"> ・ ダブルス ・ シングルス 	
【評価方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点 (出席重視) ・ 授業中に採点する。 	

【授業科目】教養体育（実技）	テニス
【開講期】1年前期	【担当者】寺本圭
<p>【授業目標】</p> <p>テニスについて学習し、実践していくことで「健やかに生きるための基盤」を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>自分たちが、練習の計画を立て、自分たちだけでスムーズにゲームが進められるよう、以下のよ うな技術について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ボール、ラケットに慣れる。 2) フォアハンドボレー 3) バックハンドボレー 4) フォアハンドストローク 5) バックハンドストローク 6) ストロークラリー 7) サービス、レシーブ 8) 試合の進め方 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業期間における技術の進歩、積極性、協調性などを評価する。</p>	

【授業科目】 教養体育（講義）	
【開講期】 後期	【担当者】 岡田光弘
<p>【授業目標】 現代社会におけるスポーツの意義、健康・体力づくりのための基礎知識について学習していくことで「健やかに生きるための基盤」について理解を深めることを目標にする。</p>	
<p>【テキスト】 「現代メディアスポーツ論」 世界思想社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 「スポーツ学のみかた」 朝日出版社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のトピックについて順に、映像資料を用いて提示し、ともに考えてもらう。</p> <p>①テクノロジーの進歩とスポーツ科学 ②健康問題としてのドーピング ③生涯スポーツと障害者スポーツ ④現代社会とスポーツの商業化 ⑤見るスポーツと参加するスポーツ etc.</p>	
<p>【評価方法】 出席点、定期試験</p>	

【授業科目】 外国語 I	英語
【開講期】 一年前期	【担当者】 平野裕美
<p>【授業目標】</p> <p>皆さんは母国語以外の言葉を使って人とコミュニケーションをとる時に、何が必要だと思いますか？この授業ではまず皆でそのことから考えていきたいと思います。それをふまえながら、英語を使って良い人間関係を作れるようなコミュニケーションを行えるよう目指します。</p>	
<p>【テキスト】 Let's Be Friends! Strategies for Successful Communication, Macmillan Languagehouse</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>最初の授業にオリエンテーションを行います。その際授業に必要なものや、授業の進め方を説明します。</p> <p>その後ユニット1（相手の名前を呼んでみよう）からユニット9（お礼の言い方を覚えよう）まで順に進みます。</p>	
<p>【評価方法】 出席、平常点、期末試験を総合的に評価します。</p>	

【授業科目】 外国語 I	中国語
【開講期】 1 年前期	【担当者】 陳 志華
<p>【授業目標】 この授業の目標は、①中国語の発音、②中国語の基礎文法、を身につけることである。</p>	
<p>【テキスト】 方如偉・王智新・鎧屋一著『新版 中国語 10 課』白水社</p>	
<p>【参考書】 必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、中国語の発音の基本を学習する。</p> <p>2、簡単な日常会話を基礎とした内容を反復しながら、中国語の基礎文法や対話練習を積み重ねていく。</p>	
<p>【評価方法】 平常点（出席、小テスト）と期末テストで評価する。</p>	

【授業科目】外国語 I	フランス語
【開講期】前期	【担当者】森佳子
<p>【授業目標】</p> <p>フランス語にふれることで、フランスの文化を知り、将来フランス語を習得したいと思うきっかけになればと考えている。また、日本語とは違う表現方法を知ること、なぜそうなるのか、モノを考えることのできる人を育成したい。</p> <p>I では、まず発音に慣れてもらうこと、名詞にすべて性別があることを理解するまでを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>モン フランセ （数藤ゆきえ、酒井由紀代著 駿河台出版社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①発音（アルファベの読み方、発音と発音記号を一致させる）</p> <p>②名詞について（男性名詞と女性名詞、単数と複数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞）</p> <p>③形容詞について（形容詞の性数は主語と一致する、形容詞の位置、指示形容詞、所有形容詞）</p> <p>④動詞の使い方（8 つの主語について、動詞は主語に応じて変化する、動詞 être の現在形、動詞 avoir の現在形）</p> <p>⑤質問のしかた（疑問文の作り方、否定文の作り方、前置詞と定冠詞の縮約）</p> <p>⑥規則動詞の使い方（er 動詞の現在形、ir 動詞の現在形、代名動詞の現在形）</p> <p>この他、数字（0-20）を適宜覚える</p> <p>各項目、2、3 回程度の授業で終えることを目標とする</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験、提出物、小テスト、出席</p>	

【授業科目】外国語Ⅰ	ドイツ語
【開講期】1年前期	【担当者】濱野 英巳
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>清野智昭著「ドイツ語の時間〈文法編〉」（朝日出版社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用しての様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 読み・聞き取りの練習—最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。 2. 文法の学習—必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。 3. トピックの紹介—文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。 4. ディスカッション—各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。</p>	

【授業科目】 外国語Ⅱ	英語
【開講期】 一年後期	【担当者】 平野裕美
<p>【授業目標】</p> <p>前期に学んだコミュニケーションのコツをさらに発展させていきます。英語で表現する時にはどのような言葉が相手に好ましく思われるのかを学んでいきます。</p>	
<p>【テキスト】 Let's Be Friends! Strategies for Successful Communication, Macmillan Languagehouse</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>最初の授業にオリエンテーションを行います。その際授業に必要なものや、授業の進め方を説明します。</p> <p>その後ユニット10（詳しく尋ねてみよう）からユニット18（会話を切り上げる表現を覚えよう）まで順に進みます。</p>	
<p>【評価方法】 出席、平常点、期末試験を総合的に評価します。</p>	

【授業科目】 外国語Ⅱ	中国語
【開講期】 1年後期	【担当者】 陳 志華
<p>【授業目標】 この授業の目標は、①中国語の基本文法の理解力、②中国語の会話能力をさらに高めることである。</p>	
<p>【テキスト】 方如偉・王智新・鐙屋一著『新版 中国語10課』白水社</p>	
<p>【参考書】 必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>1、中国語の会話能力と基本文法を習得する。</p> <p>2、中国文化及び急激に変化している中国民衆生活の実態を学びながら、中国語の教養を深める。</p>	
<p>【評価方法】 平常点（出席、小テスト）と期末テストで評価する。</p>	

【授業科目】 外国語Ⅱ	フランス語
【開講期】 後期	【担当者】 森佳子
<p>【授業目標】</p> <p>前期同様、フランス語にふれることで、フランスの文化を知り、将来フランス語を習得したいと思うきっかけになればと考えている。また、日本語とは違う表現方法を知ることで、なぜそうなるのか、モノを考えることのできる人を育成したい。</p> <p>Ⅱでは、Ⅰで学習したことをふまえ、言いたい事をフランス語で表現できるようになることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>モン フランセ （数藤ゆきえ、酒井由紀代著 駿河台出版社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①不規則動詞について（aller 行く と venir 来る の現在形、近い未来と近い過去の作り方、他の不規則動詞）</p> <p>②複合過去形について（複合過去とは、avoir を使うタイプ、être を使うタイプ、代名動詞を複合過去にするには）</p> <p>③未来形について（単純未来形とはなにか、前未来形とはなにか）</p> <p>④質問のしかた（疑問副詞—いつ・どこ・どのように・なぜ、疑問代名詞—だれが・なにを、疑問代名詞—どれ・だれ、疑問形容詞—どんな・なんの、非人称構文—天候・時間</p> <p>⑤比較について（比較級とは、最上級とは、特殊な形について）</p> <p>この他、数字（20-1000）を適宜覚える</p> <p>各項目、3 回程度の授業で終えることを目標とする</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験、提出物、小テスト、出席</p>	

【授業科目】外国語Ⅱ	ドイツ語
【開講期】1年後期	【担当者】濱野 英巳
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>清野智昭著「ドイツ語の時間〈文法編〉」(朝日出版社)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用しての様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 読み・聞き取りの練習—最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。 2. 文法の学習—必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。 3. トピックの紹介—文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。 4. ディスカッション—各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。 <p>注：「外国語Ⅱ(ドイツ語)」は、「外国語Ⅰ(ドイツ語)」の単位取得者か、相応のドイツ語力を有する者のみ履修可能。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。</p>	

【授業科目】 海外語学研修	
【開講期】 1年 2年 前期&夏期集中	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>3週間イギリスでホームステイしながら、現地の大学語学センターによる授業を受け、ナマの英語に触れながら、英語運用能力を高める。さらに、英語文化圏の生活に触れることによって英語という言葉の背後にある文化を吸収し、英語を総合的に理解する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業の柱は、8月5日成田出発—8月30日帰国の、イギリス滞在にある。 が、前期において、パスポートの取得から現地での生活に関する基礎講義、および簡単な英会話などを事前指導として5回行うことを含む。</p> <p>柱の部分の語学研修は、イギリスのリーズ市にあるリーズ。メトロポリタン大学語学センターが提供する研修(午前2コマの英語の授業)に3週間参加し、滞在はホームステイ。平日の午後にはさまざまな課外授業が用意され、世界から集まってきている学生たちと、スポーツや映画鑑賞、町でのショッピングなどできる。さらに、中世の趣を残したヨークという街や、文豪ブロンテ姉妹(「ジェーン・エア」「嵐が丘」などで有名)の暮らしたハワースなどへの遠足も実施する。</p> <p>大まかな日程は以下のようなスケジュールで、費用は47万円ちょっと、分割もできます。</p> <p>8月5日 成田出発(ブリティッシュ・エアウェイズを使用予定) ロンドン着 6日 ロンドン観光 7日 ロンドンから専用バスにてリーズへ 8日 ~ 26日 リーズにてホームステイ 語学研修 27日 リーズから専用バスにてロンドンへ 28日 ロンドン市内自由行動 29日 ロンドン・ヒースロー空港から帰国 30日 成田着</p> <p>担当の中島は全行程を同行します。この授業に参加することで外国語・応用英語の単位認定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>現地の評価を参考に、全行程の平常点、帰国後のレポートで評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 英会話（基礎）	
【開講期】 2年 前・後期	【担当者】 サラ・ブロック
<p>【授業目標】</p> <p>今まで学んできた英語を使ってみたことはありますか。外国の友達はいますか。英語を学んでも「英語はできない」「英語を使えない」と思っている人がいます。けれどそれは本当のことではなく、書く英語と話す英語は違うのだということを教えてくれなかった教科書英語がおかしかっただけなのです。</p> <p>正しい文法でコミュニケーションをとりながらも、自分の気持ちを正確に伝え、相手の気持ちを正確に受け止める力を身に付け、「英語ができる」「英語を使える」ようになることがこの授業の目標です。</p>	
<p>【テキスト】 プリントを配布</p> <p>(例) ① My neighborhood ② How do you come to school? ③ Shopping in an American Shopping mall ④ Complaints department ⑤ My Dream Vacation</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】 和英辞典・英和辞典（電子辞書・携帯電話を辞書として使用も可）</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は会話中心です。</p> <p>最初は決まった会話文の中に自分のことを取り入れるなどのシンプルなものです。</p> <p>どんどんサポートを減らしていき、自分で話します。</p> <p>前期・後期の英語のレベルは、それほど変わりません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>提出物、インタビューテスト、スキットの発表、その他</p>	

【授業科目】 選択外国語 ビジネス英語	
【開講期】 前期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. ビジネスに必要な英語とは何かを理解する 2. 実際にビジネスの世界で使われている英語を学ぶ 3. 実際にビジネス英語を使ってみる	
【テキスト】 必要に応じて紹介する	
【参考書】 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
1. ビジネスの世界について基本的な理解をする 2. ビジネスの世界で使われている英語とは何かを理解する 3. 新聞や雑誌の中から、ビジネスに関わる英文を取り上げて読む。 4. ビジネスに関わる英語の語彙を増やす。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 選択外国語 時事英語	
【開講期】 1年 2年 後期	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>授業期間内では難しいかもしれないが、いずれ Time や News Week といった英語雑誌が読めるようになるように、その基礎を培う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>向山淳子「ビッグ・ファット・キャットの世界一簡単な英語の本」幻冬社 2001年</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>最初の2時間で英文を読むのに必要な基本文法（難しいと思わないでね）を説明します。その際に「ビッグ・ファット・キャットの世界一簡単な英語の本」の方法を準用するので、受講する学生は事前に読んでおいてもらうと分かりやすいと思います。</p> <p>最初は簡単な文から読んでいこう。英文を読むにはコツがあります。そのコツさえマスターしてしまえば、あとは語彙（単語量）です。語彙を増やすには、毎日こつこつと読みながら辞書を引いていきます。大変そうに思えますが、なれてくれば、必ずや楽しくなり、そして、読めるようになるのです。</p> <p>ある程度、文に慣れてきたら、いよいよ Time か News Week に挑戦してみましょう。ニュースを読めるようにするには、そのニュースを日本語で知ってしまうのが一番です。したがって、この授業では、世界のニュースを確認しながら英文に挑戦していきます。</p> <p>この授業を通して、世界通になり、英語通になってください。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎回単語のチェックを行います。その積み上げと平常点、出席点で評価します。</p>	

【授業科目】 選択外国語 異文化コミュニケーション	
【開講期】 後期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 * 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 言語とコミュニケーション	
【開講期】 前期	【担当者】 佐々加代子
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】 佐々加代子『コミュニケーション能力弱者のQOL援助』犀書房</p>	
<p>【参考書】 筆者の著書でいずれも犀書房。『言語習得と人間関係』『子どもからの贈りもの』『発達臨床相談』</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語の特性 2. コミュニケーションにおける言語 3. コミュニケーションの基本的過程 ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール 媒介となる距離－信号行動系 4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた 5. 対象児・者によるコミュニケーション関係 乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人 6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容 7. 両者の関係とQOL 8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと ここでの1～8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。 情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。 グループでの討論も加えていく。 	
<p>【評価方法】 最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】手話入門	
【開講期】 後期	【担当者】細田恵子
<p>【授業目標】 初級程度の手話技能を修得し、聴覚障害者の生活等を知ることによって、自分の内面を見つめる一助とする。 それとともに、障害者と共生できる街作りにどう関わっていくかを模索する。</p>	
【テキスト】 随時プリントを配布する	
----- 【参考書】 講義中に紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. まず、聴覚障害を持つ講師との意志疎通を図る方法について知る。 2. 挨拶・自己紹介等の日常よく使用する手話を身につける。 3. 聴覚障害問題について学ぶ。 4. 聴覚障害とはどんな障害なのかを実体験する。(疑似体験) 5. 聴覚障害者と健聴者が共生していくためには、どうしたらいいのか、かつ、授業で学んだことをこれからどういかしていくか、考え、実践して欲しい。 <p>* 毎回レポートを提出していただきます。</p>	
<p>【評価方法】 レポートと授業態度により評価する。</p>	

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	
【開講期】1年 2年 前期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品はどのように出来上がっているのだろうか、作られた世界（フィクション）である文学作品は現実世界を生きる私たち読者にどんな影響を与えるのか、そもそも文学作品とは何か、以上のことを考えて、文学作品を読む有意義性を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文学作品をただ活字を追うようにして読むだけでは、その作品が読者に与えてくれるさまざまな喜びやメッセージを引き出すことはできない。その結果、読む作業を疎んじている人はいないだろうか。実は、文学作品は、確かにつくられた世界（フィクション）だが、現実の世界に生きる私たち読者にさまざまな影響を与えている。作られた世界であることを知りながらも、読み終えて感動を覚えた経験を持つ人は多いだろう。それでは、文学作品はどのように作られていて、現実世界に生きる私たち読者にとってそれは何なのか。この点をさまざまな角度から考えてみよう。一回きりしかない人生を何倍にも楽しむ方法、それが文学であり、実は私たちの人生だって、物語になっていることに気づくはずだ。次のような内容で講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「わたし」と他者 2) 視点と語り手 3) 語り手の言語と無意識 4) 表現か内容か 5) 小説世界内とプロット 6) 小説の蓋然性 7) 作者の死 8) 読者・印象批評 9) 読みのあれこれ 10) 人生とフィクション 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

[授業科目名] 造形美術とイメージーション	
[開講期] 後 期	[担当者] 八木 紘一郎
<p>[授業目標]</p> <p>この授業では、造形美術の中でも、特に日頃見慣れている生活の中の身近な造形美術をとりあげ、それらの造形美術に込められた意味をイメージーションをめぐらせて解説していく。身近なところの造形美術を通して、人間にとって、実は目に見えるモノゴト(造形美術)は見えないモノゴトをイメージーションする方法として存在する関係性と意味を掘り下げる。</p>	
[テキスト・参考書]	
授 業 計 画	
<p>1) 太古の歴史をさかのぼると、人の彫塑は、実は女性像だけが造られていた。なぜ、男性像は作成されていないのか、なぜ、女性像がはじめに造られたのか？何の目的で誰が造ったのかなどを実際の女性像の数々を見ながら考える。</p> <p>2) ミニチュアのキャラクター人形の世界を取り上げて考える。</p> <p>① 暮らしの中に置かれてきた「招き猫」をとりあげ、その造形美術を通して考える。右手を挙げている意味、左手を挙げている意味などを考える。</p> <p>② リカちゃん人形など「かわいい人形」を例にあげて人気の秘密、意味などについて考える。</p> <p>③ 「箱庭療法」で使われるミニチュアの造形美術世界の意味を考える。</p> <p>3) 異界の造形美術とイメージーション</p> <p>① 多様に描かれ作られた妖精・妖怪・鬼・魔物など異界の生き物の造形美術をとりあげ、人はなぜそのような造形美術を創作したのかをイメージーションする。</p> <p>② 異界の生き物の居住する場としての神殿や寺院等の造形美術を考える。</p> <p>③ 今は、スポーツとして扱われている、国技の相撲「横綱」のしめ縄と神社のしめ縄の関連、土俵入りの姿やしこを踏むなどの様相のひとつひとつに見られる異界とのコミュニケーションを考える。</p> <p>④ 独楽、凧あげなど伝承遊びと言われる昔遊びに見られる異界との関わり</p> <p>4) サンタ学～クリスマス関連の造形美術を考える～なぜ、サンタの服は赤いのか？サンタ誕生の地、起源、ツリー、丸太の形のケーキ、リースの形状などの意味を考える。</p> <p>5) 白と黒のイメージーション。白地に描く東洋、黒地に描く西洋。どうして？など</p> <p>6) 図記号とイメージーション</p> <p>身近な暮らしの中にある様々な図記号を解説しながら伝達デザインの諸相を考える。</p>	
<p>[評価方法]</p> <p style="text-align: center;">平常点</p>	

【授業科目】 話し言葉の伝承	
【開講期】 1・2年前期	【担当者】 東 喜望
<p>【授業目標】 ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち話し言葉によって、語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。 日本本土と南西諸島・近隣アジアの説話を事例とし、大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。</p>	
<p>【テキスト】 資料プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 東喜望著『沖繩・奄美の説話と伝承』(おうふう刊)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p><u>講義概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>序</u> (1) わが国をニッポンというのはなぜか。 (2) 国号と環太平洋の太陽神話 2. 「<u>神話</u>」・「<u>伝説</u>」・「<u>昔話</u>」とは何か。 3. <u>説話伝承の起源</u> <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然と人間の意識 (2) 信仰と「語り」——個人・村落レベルから国家レベルへ。 (3) 神話の発展——伝説・昔話へ。 4. <u>伝承文芸の現代的意義</u> 	
<p>【評価方法】 定期試験時のペーパーテスト(ノート・プリント等参照可)</p>	

【授業科目】	絵本・絵巻と物語表現
【開講期】	前期
	【担当者】 久保木 寿子
<p>【授業目標】</p> <p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの＜交響＞が目指される訳です。</p> <p>この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージの形成について考え、どのような時に、感動や共感を呼び起こす＜交響＞が成り立つのか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に指示</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 次のような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・表現の枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻・（竹取物語）などを例に 2. 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に 3. お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』（奈良絵本竹取物語）などを例に 4. 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『あおくんときいろちゃん』『あり』（竹取物語）などを例に 5. 紙芝居 6. アニメーション 高畑・宮崎作品を例に <p>II 上記Iを通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵の視座・物語の視座 2. 絵の空間表現・物語の空間表現 3. 絵の時間表現・物語の時間表現 4. 見、聞く人の位置と語り手の位置 <p>III 絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2. ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2. 絵・ことばの響き合いについて <p>注意：絵本の読み聞かせや語り聞かせのノウハウを、伝授する授業ではありません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】	源氏物語の世界	
【開講期】	後期	【担当者】 久保木 寿子
【授業目標】	<p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。</p> <p>一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、<どう生きるか>に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部にとらわれず、『源氏物語』が、“すごい”ことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>	
【テキスト】	プリントを配布	
【参考書】	<p>大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語：瀬戸内寂聴訳など 源氏物語絵巻・アニメ・映画その他のビデオ 授業時に指示</p>	
授 業 計 画		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。 2. 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。 3. 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対した女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。 4. 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・②紫の上・③女三の宮 を中心に、それぞれの人物像を探っていく。 5. 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が「天皇のような そうでもないような」地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとって、いったい何が重要なことなのか、考えたい。 6. 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。 7. 源氏物語の笑いについて考える。 8. 物語表現の美しさについて考える。 9. 源氏物語の古代性と現代性について考える。 		
【評価方法】	出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。	

【授業科目】 近現代の日本文学	
【開講期】 前期	【担当者】 高原二郎
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文学作品など読むヒマにもっと役に立つことないの？ ・ 作家なんてホントはなにしてるんだろ。 ・ 文学史なんてのやらされてアタシたちメイワクなだけ！ ・ でも基礎知識くらいは仕方ないカモね。 	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で紹介します。</p> <p>予習読書は強制しません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(内容)</p> <p>上記のように、「文学入門」的なねらいを含んだ文学理解、作家論、課題論、文学史等を扱います。従って、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作家と社会—社会に対応する作家の姿勢、文学的展開。 2 作家と時代性—作家や作品を社会の流れと照らして位置付けしてゆく試み。 以上2点を踏まえて、以下の展開にする予定です。 3 テーマ、課題による読み解き。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 開化と西洋 (鷗外、漱石、荷風、光太郎) (2) 個人、エゴ、ヒューマニズム (漱石、白樺、龍之介) (3) 制度と人間 (啄木、武郎) (4) 自然と人間 (独歩、武郎、賢治) (5) 愛と人間苦 (武郎、太宰治) (6) 伝統と近代 (康成) (7) 戦争と人間 (峠三吉他) (8) 疎外と人間 (石牟礼道子) <p>(なお、時間の都合で省略もあり得ます)</p> 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート評価の予定</p>	

【授業科目】庶民の生活文化	
【開講期】後期	【担当者】高橋徹
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの親の世代や、祖父・祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのでしょうか。この授業では、第二次世界大戦後の、日本人の生活の歴史を理解することと、それをふまえて、みなさんが自分自身の現在の生活について考えるきっかけを得ることを目的としています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>加藤秀俊『暮らしの世相史』（中公新書、2002年）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業では、生活文化といっても「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、歴史をたどりながら、テーマごとに古い映画や関連するドラマの一部分、ドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。上記の「参考書」は、直接授業では使いませんが、夏休みの間にでも読んでおかれると、この授業の理解が深まるでしょう。</p> <p>テーマには、次のようなものを予定しています（資料の関係で変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 時代と世代…生活史をつくる (2) 『映像の世紀』で見る 20 世紀の日本 (3) 第二次世界大戦の時代 (4) 戦後復興と闇市 (5) 戦後民主主義と女性 (6) 太陽族と「新しい」若者文化 (7) 家電製品の普及 (8) 高度経済成長時代のサラリーマン (9) 東京オリンピックがもたらしたもの (10) ビートルズ現象 (11) 旅行の時代 (12) 歌謡曲で聞く昭和 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業内の小レポートと、期末のレポートを合わせて評価する予定です</p>	

【授業科目】 現代の文化と風俗	
【開講期】 前期	【担当者】 先川 直子
<p>【授業目標】 わが国の文化や風俗には、若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションを創り出していくようになった。 本講義では、その中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものを中心に、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。</p>	
<p>【テキスト】 使用しない。必要に応じてプリント資料を配付する。</p>	
<p>----- 【参考書】 佐々井啓・篠原聡子・飯田文子編著『生活文化論』（朝倉書店） 小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史—近現代の移り変わり—』（光生館）他</p>	
授 業 計 画	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイカラさん—洋風の導入と和風との折衷— 2. モダンガール 3. あこがれのアメリカ文化—自由で豊かな生活の象徴— 4. 昭和30年代の生活文化革新 <ul style="list-style-type: none"> 団地の誕生と核家族の増加 家庭裁縫から既製服へ 3種の神器と3C—家電製品の普及— インスタント食品の登場 5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論 6. 「若者」がつくる新しい文化 <ul style="list-style-type: none"> ミニスカート—街角から生まれた若者のファッション— ジーンズ—労働着から反抗・反体制のシンボルへ— 新人類文化とDCファッション ディスコ文化とボディコン・ギャル コギャル文化と携帯電話の普及 7. 大量生産・大量消費への反省—「もの」とどう向き合うか— 8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点 	
<p>【評価方法】 学期末の試験・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価</p>	

【授業科目】現代英米の文学	
【開講期】1年 2年 前期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>19世紀から20世紀にかけてのイギリス、アメリカの代表的な小説を紹介し、作品の歴史的背景や文化的情報を取り込みながら、作品の解釈を試みる。文学作品の読み方を学びながら、英米文学の特徴を理解することを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要なときに指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>イギリスの小説を6作品、アメリカの小説を6作品、1講義に1作品ずつ取り上げていく。それぞれの講義は、まずは時代背景、そしてその時代の文学的特徴、作家紹介、作品紹介、さらに、作品の解釈へと進めていく。文学作品は読まなければ意味がないので、できるだけ多くの作品を読んでほしい。少なくとも、最後にレポートを書くために、イギリスの作品を一作品、アメリカの作品を一作品、合計2作品は読むこと。次の順番で講義していく。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッター』シリーズ イギリス第2回 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 イギリス第3回 トーマス・ハーディ『テス』 イギリス第4回 オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』 イギリス第5回 D.H. ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』 イギリス第6回 サマセット・モーム『お菓子とビール』 アメリカ第1回 ナサニエル・ホーソン『緋文字』 アメリカ第2回 マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』 アメリカ第3回 セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』 アメリカ第4回 F.スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』 アメリカ第5回 ウィリアム・フォークナー『八月の光』 アメリカ第6回 アリス・ウォーカー『カラー・パープル』</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 世界の児童文学	
【開講期】 後期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。	
【テキスト】 授業の中で指示する	
【参考書】 「英米児童文学の系譜」 こびあん書房	
授 業 計 画	
1. 世界の児童文学を国別にとりあげ、歴史や発展をとらえる。 2. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 3. 関連する作品を読んだり、映像によって理解を深める。 4. なぜ児童文学が多く読まれるのかを考えていく。 1) 「アラビアンナイト：アラジン」 (アラビア) 2) 「秘密の花園」 (イギリス) 3) 「オズの魔法使い」 (アメリカ) 4) 「美女と野獣」 (フランス) 5) 「モモ」 (ドイツ)	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点 (出欠、予習、質問、意見発表など) とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 比較文化論・近代文明と日本人	
【開講期】 後期	【担当者】 高原二郎
<p>【授業目標】</p> <p>私たちがものごとを考えたり判断したりするときの拠りどころ、物差し、尺度。日常生活をとり囲み、私たちの見方や考え方や生き方を、いつの間にか左右する大きな枠組み。つまりは皆さん一人ひとりが、それへ向けて衝き当り、悩み、そして切り拓いてゆくよりない「価値観」といったもの。その「価値観の在りよう」について、各自が自己衝突を開始することを以て授業の目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>用いません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で示します。読書は義務としません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の視点は、文学に関わる立場から、とします。 ・ 日本の近代化、それに伴う価値観の衝突や混乱や、さらには科学技術に支えられる今の社会をどのように考えるかなど、下記の項目を目安に展開します。一緒に考えてゆきましょう。なお「ヒューマニズム」については、特にしっかりと考えましょう。 <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の近代化と西洋 ー価値観についての基本理解ー <ol style="list-style-type: none"> (1) 文明の先進と後発 (2) 新旧混乱期の実情 (3) キリスト教、儒教、武士道 (4) 文学者の西欧体験 2. 近代的な考え方へのアプローチ <ol style="list-style-type: none"> (1) 個人、人格、エゴ (2) 愛、ヒューマニズム、慈悲、仁 3. 自然と人間と近代 ー価値観についての展開ー <ol style="list-style-type: none"> (1) 西洋の自然 (2) 東洋の自然 (3) 日本の自然 (4) 自然と人間へのヒント 4. 自然科学と人間 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然科学をどのように考えるか (2) 自然科学と制度 (3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」 (4) 戦争 5. 現代社会と人間疎外 ー水俣病をめぐってー <p>ノートは、問題点を中心に要点をメモできるよう、板書を活用します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各自が最低一つ、何らかの自己衝突をつかまえてレポート。授業出席を大切にするとともに、思考のひらめきをも大いに期待します。</p>	

【授業科目】 国境を越える民俗学	
【開講期】 1・2年前期	【担当者】 東 喜望
<p>【授業目標】 古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。彼らの多くは、その生活に必要な技術や文化を口づけてに肉体を通して伝えてきた。この授業ではそんな民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のありよう、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に、中国や東南アジアや日本の「国境を越えて」生きた人々の生活を重視する。</p>	
<p>【テキスト】 資料プリントを配布する。</p> <p>映像資料(スライド・ビデオ・グラフィック)を使用。</p> <p>【参考書】 適宜指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p><u>講義概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「伝承」・「民俗」とは何が。 2. 西歐民俗学・日本民俗学の発生と展開 3. 国境なき人々の原初の暮ら(非定住の生活) <ol style="list-style-type: none"> (1) 山人——日本の山人(マダギ・サンカなど)・アジアの狩猟民(中国・台湾・東南アジア)・ユーラシア大陸の遊牧民 (2) 海人——日本の海人と家船・アジアの海人(中国の蛋民・東南アジアの漂海民など) 4. 原初の定住生活——日本・アジアにおける焼畑農耕から稲作農耕へ。 5. ムラの形成とその基本構造 6. 村落祭祀と通過儀礼 7. 民俗社会をつなぐ「結い」 	
<p>【評価方法】 定期試験時のペーパーテスト(ノート・プリント等参照可)</p>	

【授業科目】 現代社会と人権	
【開講期】 前 期	【担当者】 武 藤 健 一
<p>【授業目標】</p> <p>2年後・1年後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出て行って、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>レ ジ ュ メ 配 布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 山田 昌弘 「パラサイト・シングルの時代」 (ちくま新書) 伊田 広行 「シングル化する日本」 (洋泉社 新書)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の日本社会は今急速に変化していています。 そこで、女性がどのような状況におかれているかを理解するために、女性労働または恋愛・結婚・家族について、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討し、現代社会における女性の人権の有様を明らかにしたいと思います。</p> <p>上記のどちらを取り上げるかは、他の授業の内容などを見て決定します。</p> <p>具体的には女性労働では、 ① M字型雇用 ② セクシュアル=ハラスメント ③ 派遣労働 ④ 育児・介助休暇 ⑤ パート労働</p> <p>恋愛・結婚では、 ⑥ 恋愛観・結婚観 ⑦ 結婚 ⑧ 家事・育児 ⑨ 夫・恋人の暴力(DV) ⑩ 子どもの虐待 ⑪ 離婚</p> <p>という項目の中からいくつかを取り上げていきたいと考えています。</p> <p>注1) 受講者数によりますが、講義・ディスカッション等のどの形式になるかを受講者と相談して決めたいと思います。</p> <p>2) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。 また、下記にあるように、平常点重視なので、学生にとって負担の大きい授業です。安易に単位取得を目的に受講しても、単位取得は不可能です。</p> <p>3) 飲食など、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべり・遅刻(10・15分過ぎ)などは絶対に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点を重視し、試験点を加える形で成績をつけます。</p> <p>出席点+平常点：学期末試験(形式未定)=2：1</p>	

【授業科目】 憲法と私たち（日本国憲法）	
【開講期】 1年・2年 前期・後期	【担当者】 清水 雅彦
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常日頃から社会問題に関心を持つようにさせる。 2. 法的な基本的発想ができるようにさせる。 3. 憲法の規定を正しく解釈し、理解させる。 4. 人権感覚や法的倫理観を身につけさせる。 5. 身の回りの問題について、自分で解決する勇気を持たせる。 	
<p>【テキスト】</p> <p>『デイリー六法』三省堂</p>	
<p>【参考書】</p> <p>播磨信義ほか編著『新・どうなっている!? 日本国憲法』法律文化社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 法・憲法とは何か <ol style="list-style-type: none"> (1) 新聞を読む～身の回りにどれだけ憲法問題があるか (2) 法の歴史～痴漢への対処法から人権の歴史を考える 2. 人権規定 <ol style="list-style-type: none"> (1) 人権の基本原理と制約原理～なぜ電車内で携帯電話はいけないの？ (2) 人身の自由～交通違反から警察との対処法を考える (3) 幸福追求権～プライバシー権や肖像権は憲法に書いていないけど (4) 法の下での平等～「バカチョンカメラ」とってはいけない話 (5) 信教の自由～輸血拒否事件、地下鉄サリン事件、靖国問題…… (6) 表現の自由～危ないシャンプーvs知る権利、わいせつ表現vs表現の自由 (7) 思想・良心・学問の自由～学生も学校では主人公！ (8) 女性の権利～中絶すると女性は犯罪者!? (9) 生存権～将来、低所得者は病院に行けなくなる!? (10) 教育を受ける権利～個人を尊重する教育理念と現実 (11) 労働基本権～将来、会社人間にならないために 3. 統治規定 <ol style="list-style-type: none"> (1) 主権～天皇制と国民主権との関係 (2) 平和主義～憲法の定める平和主義の理念と現実 (3) 国会～選挙に行く前に知っておきたいこと (4) 内閣～議院内閣制と大統領制の違い (5) 裁判所～ドイツとの比較から日本の裁判を考える (6) 財政・地方自治～憲法でどのように規定されているか (7) 憲法の保障・憲法の改正～憲法を守れない人は公務員になれない!? 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業の出席と期末試験</p>	

【授業科目】 日本とアジアの近現代史	
【開講期】 後期	【担当者】 佐藤いづみ
<p>【授業目標】</p> <p>日本の近代史は、その歩みを始めたときから、アジアとの大きな関わりを持っていました。この授業では、アジアに向けた日本人のまなざしに注目しながら、日本とアジアの近現代史を学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>講義中に紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>次の内容で授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 福沢諭吉の「脱亜論」・・・「学問のすすめ」から福沢の思想の根幹を読み取りつつ、「脱亜論」に展開された中国観、朝鮮観ともに、台湾論に注目 * 潘佩珠の『ヴェトナム亡国史』・・・日露戦争がヴェトナムに広げた波紋とその行方 * 関東大震災時の朝鮮人虐殺・・・朝鮮植民地化と朝鮮人に向けられた市井の人々の暴力について、80周年の出版から学ぶ * 台湾の霧社事件・・・台湾でのドラマ化に見る、日本による台湾植民地化 * 満州国建設と中国残留孤児・・・大陸へ渡った青年、花嫁、家族。そして土地を奪われ「匪賊」と呼ばれた中国人 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末に、レポートを提出してもらいます。</p>	

【授業科目】 社会福祉の考え方	
【開講期】 1年後期	【担当者】 山路憲夫
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とはなにか。ここでは広義の社会福祉を考えたい。広義の社会福祉とは、公共政策一般、社会政策、狭義の社会福祉(私的社会事業、公的社会事業)が含まれる。最近の社会福祉は多様化、複合化する一方だ。利用者の立場からとらえ直すという意味でも、広義の社会問題対策として幅広くとらえ、それぞれ制度を理解すると共に、各領域の関連を明らかにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「はじめての社会保障」(棕野美智子・田中耕太郎著、有斐閣アルマ)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 広義の社会福祉とはなにか 社会福祉、社会保障、社会政策の特徴と関連性</p> <p>II 社会福祉の成立の背景</p> <p>III 社会福祉の各制度の現状と問題点 公的年金制度、医療保険、公的介護保険、生活保護、社会福祉制度</p> <p>IV 21世紀の課題 少子高齢化と負担と給付の現代的問題</p> <p>V まとめ</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験(持ち込み可)</p>	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	
【開講期】1年 前期	【担当者】富永静枝
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点からとらえなおし、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係性をさぐり、「男らしさ」・「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施、男女共同参画社会基本法の制定など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 ジェンダーとはー性別役割分業とその問題点ー 2、 女性のライフサイクルの変化 3、 ジェンダー統計に見る現状と課題 4、 労働とジェンダー 5、 福祉とジェンダー 6、 女性と人権ードメスティックバイオレンスー 7、 男女平等をめざす世界の運動と日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験かレポートにするか現時点では未定。他に平常時の提出物、出席状況を加えた総合評価。</p>	

【授業科目】 現代世界とマイノリティー	
【開講期】 1年 2年 後期	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>世界のマイノリティ（少数民族集団）がどのような歴史の元、現在のような分布になってきたのか、その歴史的背景を理解し、マイノリティが絡む民族紛争を概観する。さらに、マイノリティが複雑に絡み合うアメリカ合衆国の状況を見て、マイノリティ問題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要なときに指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現在、世界のいたるところで紛争が行われている。その原因には、多くの場合、19世紀のヨーロッパの大国が勝手に国境線を引いたために分断された民族が関係している。パレスチナ問題、コソボ紛争、アフガニスタン問題、という言葉聞いたことがあるだろう。この背景には、少数に分断された民族（マイノリティ）が深く関わる。このような世界の状況を、まずは概観する。さらに、多民族国家といわれるアメリカは、世界の警察と自称しながら、自国の中にマイノリティ問題を多く抱えている。ネイティブ・アメリカンや（インディアン）やアフロ・アメリカン（黒人）は特に有名である。このようなアメリカ国内のマイノリティ問題を、それぞれの集団に即してみよう。授業は次のような順に講義していく。</p> <p>マイノリティとは</p> <p>帝国主義と植民地の遺産</p> <p>民族紛争</p> <p>人種の垣根からサラダボール理論へ：アメリカのマイノリティ</p> <p>アメリカ黒人の歴史</p> <p>ネイティブ・アメリカン</p> <p>ユダヤ人</p> <p>アジア系アメリカ人</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】女性労働の問題	
【開講期】1年 後期	【担当者】富永静枝
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、近代日本における女性労働の歩み 2、女性労働の現状と課題 3、女性労働と法 4、女性労働の国際比較 5、家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 地域生活と家族	
【開講期】 後期	【担当者】 民秋 言
<p>【授業目標】</p> <p>私の人間は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなりに生まれ出、育てられ、生活し、老年を送る。この家族が地域のなかにある。地域のあり方と大きく関わっている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義の中で必要に応じて指示する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>同 上</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のほたらき(機能) 3. 家族のなかの人間関係 (1) 夫婦関係 4. 同 上 (2) 親子関係 5. 同 上 (3) 祖父母関係 6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度 7. 同 上 (2) 核家族と直系家族 8. 地域社会の変化・都市化 9. 地域のなりの生活・コミュニティ 10. 地域生活と家族のあり方 	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストと出席点とによる</p>	

現代保育教養コース
専門科目（1年）

【授業科目】 基礎ゼミナール	
【開講期】 前期	【担当者】 富永・久保木・瀧口
<p>【授業目標】</p> <p>現代保育教養コースの基軸になる科目である。 幼児を巡る様々な問題や「教育とは」と言った根本的な問題などを、 具体例に即して考えながら、幼児教育の実践者としての自覚を高める。 また、テーマ別に3つのゼミナールが開かれるので、自分の問題意識に 近いゼミに所属して、2年間の研究のベースを作る。</p>	
【テキスト】	

【参考書】	
授 業 計 画	
<p>コース全体の合同授業と、各ゼミごとの学習を組み合わせで展開する。 各ゼミナールでは、それぞれのテーマに沿って（あるいはテーマを決めながら）、 研究に対する基本的な態勢を作っていく。 いずれの場合も、幼児が置かれている現状に広く目を向け、子どもの育ちの問題を ダイナミックに捉えることの重要性を学ぶことになる。 少人数の良さを生かして、積極的に調査や討論を進めてほしい。 運営を含めて、ゼミを作るのはあなた達である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点・レポート</p>	

【授業科目】	日本語の表現	
【開講期】	前期	【担当者】 久保木 寿子
<p>【授業目標】</p> <p>私たちは通常あまり意識をせずに、日本語で考え日本語で表現をしています。 この授業では、あらためて日本語の特徴について意識化し、「正確でわかりやすい日本語表現とは？」という問題について考えます。 「幼稚園実習」を念頭に、「書く」ことを通じて、この課題に答えることを目指します。</p>		
<p>【テキスト】</p> <p>適宜、プリントを配布</p>		
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>		
<p>授 業 計 画</p>		
<p>1. 表現とは？ さまざまな表現行為の特徴について考え、理解する。</p> <p>2. わかりやすい表現とは？ いろいろな事例を基に、わかりやすい表現について考え、理解する。</p> <p>3. 日本語の特徴を理解し、わかりやすい文章を書いてみる。</p> <p>4. 文章の構成 論理の運び方ー「キーワード」に沿って書いてみる。</p> <p>5. 「観察」ということ。</p> <p>6. 「エピソード」の取り出しということ。</p> <p>* 自分たちが書いたものを、相互評価しながら進めます。</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>出席・提出物</p>		

【授業科目】 情報科学（情報処理入門）	
【開講期】 1年前期	【担当者】 宮武 直樹
<p>【授業目標】 「コンピュータとは何か」を情報科学の基礎理論から理論的に考察していく。コンピュータに無限の可能性を与えるアルゴリズムについても触れたい。また、コンピュータに関する情報表現の基礎から、コンピュータシステムとしてのハードウェア及びソフトウェア概要とITの有効活用まで言及する。情報表現と演算、プログラム、データベース、ネットワーク、情報倫理、情報セキュリティ等についても講義する。本講義は、コンピュータを科学し、情報科学の基本部分へアプローチしたいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>資料はプリントや電子的に配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報とは何だろうか（情報とメディア） 2. コンピュータの仕組み（ハードウェア） 3. ソフトウェアとは（コンピュータの言語とプログラミングの基礎） 4. アナログ情報とデジタル情報 5. 情報と生活との関わり合い 6. 日本語ワープロについて（ワードによる文書作成） 7. 表計算ソフトについて（エクセルによる表計算） 8. 電子メールとインターネットの機能と活用 9. WWW ホームページについて（HTML とホームページの作成） 10. 情報セキュリティ、情報倫理、電子記録および署名について 11. ビジネスアプリケーションと情報活用 12. ネットワークとITの基礎（IT革命の意味するもの） 13. コンピュータは何ができるか、何ができないか。 （人工知能とファジィ・右脳と左脳の違い） 14. まとめ 15. 定期試験 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、レポート提出及び出席状況によって判断する。（特に、出席は重視する。）</p>	

【授業科目】 保育内容・指導法演習	
【開講期】 1年後期	【担当者】 藤井富貴子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様化している幼児教育にあつて、人を育てることの本質を実習を通して学ぶ。 2. 実習での疑問や経験を出し合い、討議し合つて一般化していく。 	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>実習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あそびの重要性を知る <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢による遊びのとらえ方や保育者の働きかけ ○ 生活の中での自立 ○ 子ども同士の関わり方と子ども理解、保育者の関わりを学ぶ ○ 保育者の仕事を理解する 	
【評価方法】	

【授業科目】	現場で学ぶ幼児教育
【開講期】	後期
【担当者】 富永・久保木・瀧口	
<p>【授業目標】</p> <p>幼稚園実習を、長期に渡り行うことにより、継続的に幼児の成長変化を追い、観察記録を通じて理解を深める。また保育者の動きを実見し、対応の仕方について学ぶ。「保育内容 指導法演習」の授業と接続することにより、実習時の体験や問題点を整理し、それに対する具体的な対応の方法を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『実習ガイドブック』『実習日誌』ほか</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>・第1期実習に引き続き、後期に、第2期実習・第3期実習として行う。 詳しい日程は、「しらうめの実習」を参照すること。</p> <p>* 第2期実習（11月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期実習では、1期と異なる年齢のクラスを担当する。 園のプログラムに従い、観察を中心に実習する。 実習の事前指導を受け、実習の目的を理解すること。 実習後は、実習日誌を基に事後指導を受ける。 <p>* 第3期実習（2月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察実習から、初歩的な「参加実習」に入る。 絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行う。 実習の事前指導を受け、実習の目的を理解すること。 実習後は、実習日誌を基に事後指導を受ける。 <p>以上の実習は、白梅幼稚園で行う（2年次は、外部の幼稚園での実習となる）。 実習の基礎をしっかりと身につけて欲しい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出欠席・実習態度・実習日誌・事前事後指導・学内反省会などを総合して評価する。</p>	

現代保育教養コース
他科開講科目（1年）
（カリキュラム表掲載分）

保育科受講の場合は保育科シラバスを参照して下さい。

【授業科目】 生理心理学																																											
【開講期】 1年 後期	【担当者】 多喜乃 亮介																																										
<p>【授業目標】 心の働きと、それを成立させる脳の働きについて学習する。直接心を見ることはできないが、その背後にあって活動している脳の活動や身体的な変化は観察できる。日常生活でそうした働きを意識することは多くないかもしれないが、事故や病気によって脳に損傷を受けると、身体活動だけではなく、心にも大きな影響を受けることが知られている。この授業では脳の働きと心を中心にして学習し、心が直接意識できない様々な働きによって支えられていることを理解する。</p>																																											
<p>【テキスト】 プリントを配布する</p>																																											
<p>【参考書】 随時紹介する</p>																																											
授 業 計 画																																											
<p>以下の項目に従って講義を進める予定である</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">1.</td> <td style="width: 30%;">心の座</td> <td style="width: 60%;">ギリシア・ローマ時代, 脳, 心臓, 霊</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>ルネッサンス期</td> <td>哲学的洞察, 観察, 二元論, 脳機械論</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>言語野の発見</td> <td>骨相学, 失語症, ブローカの言語野, 機能局在論</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>科学的探究の始まり</td> <td>動物実験, 運動野の発見, 脳の基本構造, ニューロン</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>人の脳の研究法</td> <td>脳外科手術, 脳波, 脳磁図, 血流変化 (PET, fMRI など)</td> </tr> <tr> <td>6.</td> <td>感覚信号と脳</td> <td>感覚受容器, 神経, 体性感覚野, 視覚野, 聴覚野</td> </tr> <tr> <td>7.</td> <td>自律神経系</td> <td>交感神経系, 副交感神経系, 脳幹, 反射・調節</td> </tr> <tr> <td>8.</td> <td>中枢神経系</td> <td>大脳皮質, 神経線維, 大脳辺縁系, 基底核, 小脳</td> </tr> <tr> <td>9.</td> <td>連合野の働き 1</td> <td>側頭連合野, 形の知覚, 色の知覚, 動きの知覚, 失認</td> </tr> <tr> <td>10.</td> <td>連合野の働き 2</td> <td>頭頂連合野, 立体視, 空間知覚, 半側空間無視, 失行</td> </tr> <tr> <td>11.</td> <td>左右の脳</td> <td>分割脳, 優位脳, 劣位脳, 言語的認識, 非言語的認識</td> </tr> <tr> <td>12.</td> <td>感情・情動と脳</td> <td>恐怖, 条件情動反応, 快・不快, 扁桃体, 表情認知</td> </tr> <tr> <td>13.</td> <td>連合野の働き 3</td> <td>運動前野, 前頭前野, 反応抑制, 作業記憶, 前頭葉症状</td> </tr> <tr> <td>14.</td> <td>まとめ・試験</td> <td></td> </tr> </table>		1.	心の座	ギリシア・ローマ時代, 脳, 心臓, 霊	2.	ルネッサンス期	哲学的洞察, 観察, 二元論, 脳機械論	3.	言語野の発見	骨相学, 失語症, ブローカの言語野, 機能局在論	4.	科学的探究の始まり	動物実験, 運動野の発見, 脳の基本構造, ニューロン	5.	人の脳の研究法	脳外科手術, 脳波, 脳磁図, 血流変化 (PET, fMRI など)	6.	感覚信号と脳	感覚受容器, 神経, 体性感覚野, 視覚野, 聴覚野	7.	自律神経系	交感神経系, 副交感神経系, 脳幹, 反射・調節	8.	中枢神経系	大脳皮質, 神経線維, 大脳辺縁系, 基底核, 小脳	9.	連合野の働き 1	側頭連合野, 形の知覚, 色の知覚, 動きの知覚, 失認	10.	連合野の働き 2	頭頂連合野, 立体視, 空間知覚, 半側空間無視, 失行	11.	左右の脳	分割脳, 優位脳, 劣位脳, 言語的認識, 非言語的認識	12.	感情・情動と脳	恐怖, 条件情動反応, 快・不快, 扁桃体, 表情認知	13.	連合野の働き 3	運動前野, 前頭前野, 反応抑制, 作業記憶, 前頭葉症状	14.	まとめ・試験	
1.	心の座	ギリシア・ローマ時代, 脳, 心臓, 霊																																									
2.	ルネッサンス期	哲学的洞察, 観察, 二元論, 脳機械論																																									
3.	言語野の発見	骨相学, 失語症, ブローカの言語野, 機能局在論																																									
4.	科学的探究の始まり	動物実験, 運動野の発見, 脳の基本構造, ニューロン																																									
5.	人の脳の研究法	脳外科手術, 脳波, 脳磁図, 血流変化 (PET, fMRI など)																																									
6.	感覚信号と脳	感覚受容器, 神経, 体性感覚野, 視覚野, 聴覚野																																									
7.	自律神経系	交感神経系, 副交感神経系, 脳幹, 反射・調節																																									
8.	中枢神経系	大脳皮質, 神経線維, 大脳辺縁系, 基底核, 小脳																																									
9.	連合野の働き 1	側頭連合野, 形の知覚, 色の知覚, 動きの知覚, 失認																																									
10.	連合野の働き 2	頭頂連合野, 立体視, 空間知覚, 半側空間無視, 失行																																									
11.	左右の脳	分割脳, 優位脳, 劣位脳, 言語的認識, 非言語的認識																																									
12.	感情・情動と脳	恐怖, 条件情動反応, 快・不快, 扁桃体, 表情認知																																									
13.	連合野の働き 3	運動前野, 前頭前野, 反応抑制, 作業記憶, 前頭葉症状																																									
14.	まとめ・試験																																										
<p>【評価方法】 筆記試験 (持ち込み不可) および授業時間中に行う課題の提出によって行う</p>																																											

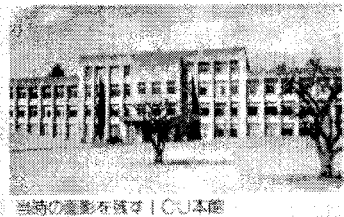
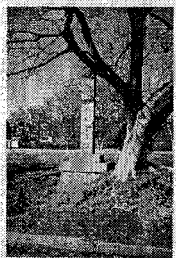
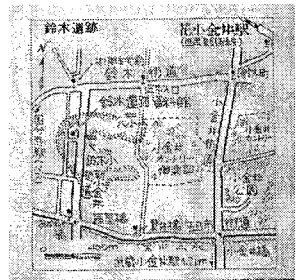
現代教養コース
専門科目（1年）

<p>【授業科目】 ゼミナールⅠ</p>	
<p>【開講期】 1年前・後期</p>	<p>【担当者】 平賀明彦</p>
<p>【授業目標】</p> <p>前期は歴史を専門的に学習していくための入門として、歴史学とは何かについて考えていく。その上で後期は、自分の関心のあるテーマについて、専門的に調べ、検討していくためにはどのように文献にあたり、史料を読み下していくかを実際に試みながら、問題関心を掘り下げていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>ゼミのメンバーが決まってから相談して決める。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>テーマに沿って、その都度紹介する。</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>まずは興味を持っている時代や出来事について、皆で出し合い、歴史のおもしろさについて話しあっていく。同時に歴史の研究法についても少しずつ学習していくが、そのためには、史料が収集され、展示されている資料館などの見学なども逐次行っていく。</p> <p>後期に向けては、皆でまとまった歴史の本を読み合い、問題点を出し合い議論する中で、一人一人が問題関心を深め、テーマを見つけだせるようにしていく。</p> <p>次のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇興味ある時代、出来事は？そしてそれは何故？ ◇歴史と歴史小説－三国志の世界を読み解く ◇時代小説に見る歴史観－司馬遼太郎、池波正太郎、藤沢周平の世界に通じるもの ◇日本近代史を見つめる眼－歴史的に見るということ ◇ローアングルから歴史を見る－民衆世界、とりわけ下層社会に視点を据えて ◇時代の基本は何か？－経済のしくみに注目する ◇政治のしくみを理解する－時代と法制度、政治制度との関係 ◇人々の考えや文化の特徴は－時代と人々の生き方との関係 ◇史料とは？史料批判とは？－歴史研究の基礎 ◇近代に関するまとまった文献を読もう－分担して報告を ◇自分の問題意識を研ぎ澄まそう－歴史と現代の関係 	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミ中の報告や小レポートによって評価する</p>	

【授業科目】ゼミナールⅠ	
【開講期】1年 前期 後期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカ合衆国に関するさまざまな情報を利用し、アメリカという国の実情に迫る。 アメリカの言語である英語を学び、地理、歴史、文学を知る。 研究するに当たっての基礎技能である、情報集め、情報分析、方法を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しないが、各自で文庫本を読んでもらう。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要なときに指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>2001年9月11日の同時多発テロ以降、アフガニスタン攻撃、イラク戦争と誰もがアメリカについては、ある考えを持っているだろう。どうしてアメリカ合衆国はあのような行動形態をとるのだろうか。誰もが知るアメリカの姿、移民の国、多民族国家、資本主義、人種問題、など、まずはアメリカの基礎情報を再確認してみよう。その上で、毎日流れてくるアメリカの現状を新聞記事により知り、その背景にある歴史的・社会的意味を捉えていく。さらにアメリカの国民はどのような文化を育んできたかを知るために、アメリカの文学作品を読んでいく。このような研究をすることによって、少しでもアメリカの現実が見えてくれば、この国が世界のあらゆる出来事に関与している今、現代世界のありようが見えてくるだろう。</p> <p>授業では、毎週担当者を決め、新聞記事の報告と読んだ文学作品の感想を発表してもらう。その上で、アメリカの基礎情報をプリントにより確認しながら、地理、歴史を学び、アメリカ研究の基礎を築いていく。アメリカの文献は翻訳されているものも多いが、ナマの情報を手に入れるには、英語が読める必要がある。そのために、少しずつ少しずつ、英語の文献を読む練習もしていこう。卒業する頃には、アメリカ通になっていることを間違いありません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミナール内の発表、レポートなどに、出席点を含む平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】現場で見る文芸	
【開講期】1年後期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】「百聞は一見に如かず」という言葉がある。この授業では文芸や文芸家にかかわる現地と遺跡を実際に訪ね、まず調査・記録し文芸家の芸術活動とその人生を探っていく。ただし、時間割の関係で遠出できない場合は、小平地域を興にした故人の遺跡も対象とする。</p>	
<p>【テキスト】資料を配布する。</p>	
<p>【参考書】適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業は次の三領域で構成する。「野外調査」は受講者と相談の上、探訪地を決定する。交通費等は自己負担。</p>	
<p>I. 調査準備</p>	
<p>(1) 野外調査(Field Work)の仕方</p>	
<p>(2) 調査記録の仕方</p>	
<p>II. 文献調査と予備調査</p>	
<p>(1) 関係資料の収集と検討 (2) 調査地の選定</p>	
<p>III. 野外調査</p>	
<p>(1) 小平・立川周辺——小侍・神明社・詩人北川冬彦旧宅・詩碑・若山牧水歌碑・五川上水。</p>	
<p>(2) 国分寺跡周辺——ハケの泉・小町の池・お鷹の道・武家屋敷、僧寺跡・万葉園・資料館・尼寺跡。</p>	
<p>(3) 三鷹周辺——国木田独歩詩碑・太宰治入水跡・太宰の墓・森鷗外碑・墓、山本有三記念館・ジブリ・三木露風墓(大盛寺別院)</p>	
<p>(4) 小金井・境周辺——独歩桜橋碑・下村湖人歌碑・浴恩館・多磨墓地。</p>	
<p>(5) 京王線周辺——徳富芦花旧宅(恒春園)・武者小路実篤旧宅。</p>	
<p>【評価方法】評価は授業への参加と提出物による。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「調査記録」を提出させる。 ・講義と野外調査への出席を重視する。 	

【授業科目】 歴史・民俗遺跡を歩く	
【開講期】 1年後期	【担当者】 平賀明彦
<p>【授業目標】 今期は考古・歴史を中心に遺跡探索をする。過去の歴史的事実を物語ってくれる遺跡・遺物と接点を持つことは、歴史の学習にとってとても重要。事前学習によって基礎知識を得て、時代がつくられた現場に立ってみると、時代の息吹がよみがえってくる。是非、それを実感して欲しい。また、近現代の新しい歴史の場合は、そのころを同時代として生きた人々が、歴史そのものを再現してくれる。そういった経験を通じて、歴史像を豊かにすることを旨とする。</p>	
<p>【テキスト】 とくに定めない。</p>	
<p>【参考書】 『歴史散歩事典』山川出版社、など多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まずは身近な考古・歴史遺跡を訪れることから始めよう。そのためには、その遺跡と、その時代についての基礎知識を習得すること。そして、実際に現場を歩くための最低限の準備とマナーについて知ることが必要。以下のような探訪地を考えているが、でかける前に、事前準備の時間を設定する。</p> <p>◇鈴木遺跡（小平市鈴木町）－石神井川の源流に沿った広い地域にわたる旧石器時代遺跡。約3万年前～1万3千年前までの生活の痕が残る関東地域を代表する旧石器遺跡。近くに遺跡資料館があり、磨製石斧などの遺物を見ることができる。</p> <p>◇恋ヶ窪遺跡（国分寺市西恋ヶ窪町）－いわゆる「国分寺崖線」に沿って分布する遺跡の一つで、縄文時代中期の集落遺跡。装飾品や調理用具が出土し、それらは国分寺市文化財資料展示室で見ることができる。</p> <p>◇武蔵国分寺跡（国分寺市西元町）－741年（天平13年）聖武天皇の詔によって 建立された国分寺・国分尼寺の跡。武蔵野国府にほど近い地に建てられ東大寺式に 準じた伽藍配置で、左写真の碑は金堂跡に建てられた。屋根瓦などが多数出土し上記資料展示室に陳列されている。ここを起点に 万葉植物園、お鷹の道、真姿の池、旧鎌倉街道などを辿る歴史散策の道がある。</p> <p>◇光華殿（小金井市・小金井公園）－現在「江戸・東京博物館分館」の正面入り口、ビジターセンターとして使われている右写真の建物は、1940年、国威発揚のために行われた紀元2600年式典の神殿として建てられたもの。奈良の橿原神宮を模してつくられており、式典後宮城外苑から移築された。</p> <p>◇旧鎌倉街道（府中市）－関東各地を縦横に走っている旧鎌倉街道の跡が、小平・国分寺地域でも至る所で見られる。特に、国分寺跡に程近い府中街道近くでは、往時の佇まいを残している数少ない場所があります。左の写真はそこでガイドの方に説明していただいているところ。馬2頭が轡を並べて疾駆できる幅の街道が、何故鎌倉に向かって何本も通っていたか。かつての街道跡に立って考えてみると、封建制の下、武家社会のしくみがわかってくるかも知れない。</p> <p>◇国際基督教大学本館（三鷹市大沢）－ICU本館の右写真建物は、戦時中中島飛行機製作所の三鷹研究所だったところ。戦後GHQが管理し後に国際基督教大学に売却された。当時の面影をそのまま残しており、キャンパス内には当時の防空壕なども残っている。</p> <p>○この他に、次のような近隣の遺跡、遺構探訪も計画している。 武蔵国府跡（府中市） 殿谷ヶ戸庭園（国分寺市） 分倍ヶ原古戦場跡（調布市） 滝山城跡（八王子市） 陸軍技術研究所跡（小金井市） 泉蔵寺戦没者 供養塔（小平市） 日立航空機変電所跡（東大和市） 龍源寺（三鷹市）近藤勇の墓など</p>	
<p>【評価方法】 見学後の小レポートと平常点で評価する。</p>	



【授業科目】 博物館の現場(博物館実習)	
【開講期】 1年 前期・後期	【担当者】 上野光子・平賀明彦
<p>【授業目標】</p> <p>学芸員は、実際どんな仕事をするのでしょうか。現場に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて資料を配付します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>全国大学博物館講座協議会関西部会『博物館学概論』ほか、授業中に適宜紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>広範な学芸員の仕事から、人文科学系に関わる実習を中心に、講義を加えながら授業を進めます。見学により実例を学び、同時に作品に対するより深い理解とマナーも身につけます。2年次には、その成果を博物館施設の実務実習に活かします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：博物館実習とは、授業計画、博物館法 2. 学芸員の仕事と現状、実習と図書、博物館の広報活動 3. 博物館施設の実際：国立博物館等の見学2回、事前事後講義、レポート提出 4. 資料作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次資料とは ・ 拓本：タンポ・墨作り、屋外拓本 ・ 裏打：くいざき、作図法 ・ レプリカ作成 5. 展示と保管 <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示環境 ・ 劣化と保存科学 ・ 展示施設と方法 ・ カタログ、作品解説 6. 梱包と運搬 7. 美術工芸品の取り扱い方と種類・技法 <ul style="list-style-type: none"> 掛軸、卷子、折本、冊子、屏風、面、金工品、漆芸品、陶磁器、彫刻、茶道具等 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート、 作品、 平常点、 出席数、 館務実習評価、 の総合点</p>	

【授業科目】日本語の表現	
【開講期】1年前期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】人間はことば"でものを考え、ことば"で社会をつくり、文化をつくれます。ですから、ことばによる表現は、人間にとって、基本的な大切な活動だといえます。この授業では、ことばによる表現の大切さと、殊に書きことばによる表現の基本を学ぶことを目標とします。</p>	
<p>【テキスト】講義資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>【参考書】適宜指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業は講義と実作(制作)を併用して進める。作文は添削して返す。</p>	
<p>講義の内容と制作のジャンルは、下記を予定している。</p>	
<p>I. 講義</p>	
1. ことばのはたらき	2. ことばと社会
3. 文章表現の基本	4. 文章の構造
5. 文章のスタイル	
<p>II. 制作・実習</p>	
1. エッセー	2. 評論
3. 短詩(伝統詩のハロディーなど)	
4. コント(掌篇小説)	5. 段落・校正実習
<p>△. 時間の余裕があれば、「文集」を作製したい。</p>	
<p>【評価方法】授業への参加(出席)と作品の提出を重視する。評価は出席と提出作品による。小テストを実施する場合もある。</p>	

【授業科目】 コンピュータ基礎演習	
【開講期】 1年後期	【担当者】 宮武 直樹
<p>【授業目標】</p> <p>現代の情報化社会ではコンピュータが大きな役割を果たしています。この講座では、まずキーボードの使い方に慣れて文書作成ができるようにし、またいろいろなソフトウェアの使い方を通して、コンピュータについて理解を深め、情報化社会の中で積極的に活用するための技術と素養を養います。この授業では実際にコンピュータを使いながら学習を進めますので出席を重視します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考書、参考文献を授業で紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報化社会とコンピュータシステムについて 2. Windows システムと操作方法 3. 日本語ワープロソフト (Microsoft Word) とその基本操作 (3級程度の文書作成) 4. 表や罫線を使う文章作成 (2級程度の文書作成) 5. 図形や段組を使う文書作成 (1級程度の文書作成) 6. 表計算ソフト (Microsoft Excel) とその基本操作 7. データベースの作成と操作 8. ペイントによる図形描画法と小物作成 9. 電子メールの送受信 10. インターネットと情報検索 11. パワーポイントによるプレゼンテーションの作成 12. HTML の基礎と簡単なホームページの作成 13. 情報セキュリティ、情報倫理、電子記録および署名についてその他 14. まとめ 15. 定期試験 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出および出席状況などから評価します。</p>	

【授業科目】	考古学の世界
【開講期】	前期
【担当者】	田中 禎昭
<p>【授業目標】 日本の古代、特に飛鳥・奈良時代を中心にした時代の社会の諸相を、最新の考古学の研究成果を通じて紹介します。藤原京・平城京という、大規模な古代都市が作られた時代、地方に暮らす人々はどんな生活をしていたのでしょうか？考古学の成果は、民衆の衣食住にわたる生活のほか、当時の交易・流通形態や、家族構造についても新しい知見を提出しています。このような多方面にわたる地域社会の様子を、古代文献史料の読解に基づく研究成果も踏まえながら、学んでいきます。また、今回は、特に考古学から見た、「古代人の生と死」の問題を重視したいと思います。</p>	
<p>【テキスト】 講義時にプリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 『考古学による日本歴史』全18冊（雄山閣出版）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>はじめに～考古学と古代史</p> <p>1・古代の村</p> <p>①村のかたちの移り変わり～村落形態論</p> <p>(1)弥生時代</p> <p>(2)古墳時代</p> <p>(3)飛鳥・奈良時代</p> <p>(4)平安時代前・中期</p> <p>②古代の村の暮らし</p> <p>(1)生業</p> <p>(2)信仰</p> <p>(3)衣・食・住</p> <p>(4)家族形態</p> <p>(5)年齢秩序</p> <p>(6)婚姻と男女関係</p> <p>(7)交通</p> <p>③村と戦争</p> <p>2・「生と死」の考古学</p> <p>①古代人の死生観と考古学</p> <p>②病気と死の考古学</p>	
<p>【評価方法】 平常点と学期末試験による総合評価。レポートを課す場合もある。</p>	

【授業科目】近代女性史	
【開講期】1年 後期	【担当者】富永静枝
<p>【授業目標】</p> <p>昭和の歴史をジェンダーの視点から学び、戦争と平和・女性の解放等について考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>有斐閣選書『女の昭和史』</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>日本女性史を特に昭和の時代に中心をおいて学ぶ。</p> <p>女性にとって昭和という時代は「戦争と平和、進歩と反動がないまぜになりながら、女性が否応なしに社会とかかわりを持った時代」(『女の昭和史』初版あとがき)といえる。この時代の女性史を学ぶことによって戦争と平和の問題や戦後民主主義の発展のもとで女性たちがどのように社会参加を果たしてきたかなどを学ぶ。</p> <p>なお、当時女性たちがどのように戦争に動員されていたか、戦時下の女性の労働やくらしの様子、戦時下の子どもたちの様子など、戦争体験者のなまの声の聞き取りを課題に出す予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート(戦時体験の聞き取り)、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 家族福祉論	
【開講期】 1年後期	【担当者】 斉藤弘子
<p>【授業目標】</p> <p>現代家族は少子高齢化を抱え、社会福祉とのかかわり抜きでは考えられません。 この授業では、少子高齢化社会のなかでの児童、障害者、高齢者の実態を探り、社会福祉と家族・家庭のあり方を探っていきたいと考えています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業中に、随時、参考資料プリントを配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業中に紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1, ガイダンス 2, 子どもを取り巻く状況について 3, 子どもと家族 4, 子育てと社会福祉 5, 障害者を取り巻く状況について 6, 障害者と家族 7, 障害者と社会福祉 8, 高齢者を取り巻く状況について 9, 高齢者と家族 10, 高齢者と社会福祉 11, 社会福祉の体制 12, 社会福祉と家族・家庭 13, 地域社会での支援体制 14, 地域社会と家族・家庭 15, まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（授業中の小レポートを含む）および学期末のレポートによる</p>	

【授業科目】 現代の企業	
【開講期】 1年後期	【担当者】 市原 祐則
<p>【授業目標】</p> <p>日本経済の中心的役割を担っているのは株式会社である。そこで「株式会社とは何か、どんな役割を果たしているか、社会人とどう関わり合っているか」というテーマで、基礎的・常識的な知識を修得する。</p> <p>更に、会社の集団である業界、会社の組織、活動状況を通して、会社で働く「個人の意識」問題を受講者と共に考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント・レジュメを配布して行う</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特になし</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の講義を通じて、会社（あるいは社会）で働く事にどうい変化が起きているのか、あるいは個人の「労働に対する価値観」にどうい変化が起こりつつあるのか——を考えたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①株式会社と社員（人間）との関係 ②社会における会社の役割と社員 ③会社の評価基準（売上高の大小、利益の大小、社員の多少等々） ④会社の組織と社員との関係 ⑤会社経営のグローバル化 ⑥社員と給与の関係 ⑦社員の雇用から退職まで ⑧採用形態の変化と労働（雇用）の流動性 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小テスト、課題レポートを総合して評価</p>	

【授業科目】 時事・社会特講	
【開講期】 1・2年 後期	【担当者】 市原祐則・今井 博・小林洋子
<p>【授業目標】</p> <p>《市原》日本経済の実情、日本を代表する会社の活動現況などについて、基礎的知識・常識の修得を目標とする。更に、社会人として生きていくために必要な株式会社に関する初歩的常識を身に付け、就職活動の一助にしたい。</p> <p>《今井》マスメディア、特に新聞報道の実態を探り、新聞を読み、ニュースを追う楽しさを知る。</p> <p>《小林》・社会人になるための心構えを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社組織を知る ・就職活動に向けての自己啓発のあり方を学ぶ 	
<p>【テキスト】</p> <p>《市原》プリント・レジュメを配布して行う</p> <p>《今井》プリントを配布</p> <p>《小林》特に指定はありません。参考文献等を授業の進行に応じて適宜使用します</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>《市原》①日本が経済分野において占める世界的地位とこれからどうなるかの予測</p> <p>②日本経済を支える若い女性の現状</p> <p>③日本の労働雇用の現状と若い女性の役割</p> <p>以上3点を踏まえて、受講生に課題レポートを作成してもらう。</p> <p>《今井》①新聞はどのようにつくられるのか。</p> <p>②新聞は同じではない。全国紙が取り上げるニュースは大同小異だが、その報道姿勢は微妙に違う。</p> <p>実際のニュース報道にそくしてその違いを解説する。</p> <p>《小林》①現代社会と職業観</p> <p>②企業をとりまく環境</p> <p>③会社とは何か</p> <p>④職業選択と適正</p> <p>⑤企業が求める人材</p> <p>⑥能力開発と自己啓発</p> <p>⑦コミュニケーション力を磨く</p> <p>⑧企業面接について</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>《市原》出席状況、小テスト、課題レポートを総合して評価</p> <p>《今井》授業中のレポートなど</p>	

【授業科目】 家庭介護総論	
【開講期】 前期	【担当者】 関谷栄子 他
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉の理念を理解するとともにヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技術を学ぶ。 ・ 家庭及び福祉施設における要介護者を対象とした自立支援のための介護の視点及び介護技術を学ぶ。 ・ 家庭介護技術には高齢者・障害者（児）の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し家族を含めた相談援助について学ぶ。 ・ この授業ではこれら家庭における介護を行うに必要な知識と技術が修得できるように講義を進める。 ・ この授業と「家庭介護演習」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉の理念とサービスの進め方 2. サービス提供の基本視点 3. 老人福祉の制度とサービス 4. 障害者（児）福祉の制度とサービス 5. ホームヘルプサービス概論 6. ホームヘルパーの職業倫理 7. 障害・疾病の理解（Ⅰ）、（Ⅱ） 8. 高齢者・障害者（児）の心理 9. 高齢者・障害者（児）等の家族の理解 10. 介護概論 11. 相談援助とケア計画の方法 12. 医学の基礎知識 13. 在宅看護の基礎知識 14. 住宅。福祉用具に関する知識 15. 共感的理解と基本的態度の形成 16. リハビリテーション医療の基礎知識 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート内容及び出席点により評価する。</p>	

【授業科目】 家庭介護演習	
【開講期】 前期	【担当者】 森山千賀子、西方規恵 他
<p>【授業目標】 介護福祉に関する技術、ヒューマンケアサービス（対人援助技術）に必要な技術、特に家庭及び施設における介護技術を展開する方法を学ぶ。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【参考書】 授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>基本介護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴などの生活の介護 ・ 肢体不自由者の移動介助 ・ 視覚障害者の歩行介助 ・ ベッドメイキング及び衣類など環境整備 ・ 緊急時の対応 ・ 援助者の健康管理 	
<p>【評価方法】 出席点、 レポート・その他により評価する。</p>	

【授業科目】 家庭介護実習	
【開講期】 前期	【担当者】 西方規恵 他
<p>【授業目標】 介護福祉技術及び、ヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技能を習得し、介護福祉施設及び在宅介護の現場で実習する。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習２級課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>施設などにおける実技実習の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設介護の現場実習 2. 在宅介護現場訪問と業務実習 要介護高齢者や障害者（児）の家庭における在宅介護の同行訪問、見学実習 3. 在宅サービス提供現場の見学 デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学実習 	
<p>【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する</p>	

【授業科目】 教育学概論	
【開講期】 1年前期	【担当者】 中嶋みさき
<p>【授業目標】 現代の日本における子どもの問題の背後には、地域社会や家族のあり方の変化が指摘されている。その一例として、子どもの遊びの変化、育児不安や児童虐待などの問題をあげることができるだろう。 それらは改めて近代以降の歴史の中で、「子育て」や制度的な「教育」のあり方に根本的な問いを投げかけている。この講義では、近代教育学にもとづき、教育的なものの見方、考え方の基礎を学び、日本における「子育て」をテキストによりながら学習し、現代において「教育とはなにか」を考察できるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】 大田堯『わたしたちの教育基本法』埼玉新聞社ブックレット</p>	
<p>【参考書】 J・J・ルソー『エミール』岩波文庫</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のような流れで順次テーマをとりあげる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近代における子どもの発見と自己教育の思想 2. 近代家族の成立とジェンダー問題 3. 日本における「子育て」 <p>等を予定しているが、受講者の関心により、内容が変更されることがある。 講義形式の授業であるが、できるだけ学生のみなさんの問題関心に配慮して授業を進め、現代教育の諸問題とむきあうための手がかりを提供できるよう努力したい。講義内容に関する積極的な質問、意見、感想を期待している。 3においては、毎回小レポートを課す予定である。 上記に示したような資料の他、使用した資料などについては、随時時間内に指示する</p>	
<p>【評価方法】 出席とレポートをもとにした総合的評価をおこなう。</p>	

【授業科目】 博物館を学ぶ	
【開講期】 後期	【担当者】 田中 禎昭
<p>【授業目標】 博物館は、何のために存在し、そこでは、どのような仕事が行われているのでしょうか？また、博物館を利用する人たちは、そこにどのような役割を期待し、博物館ではその期待に応えるために、どのような模索が為されているのでしょうか？</p> <p>社会の変化と、そのニーズの多様化に伴い、博物館をめぐる環境は、近年、めまぐるしく変わりつつあります。最近の博物館の多様なあり方を知り、博物館の上手な利用の仕方や楽しみ方を学びましょう。また、博物館の学芸員の仕事についても、この講義を通じて具体的に知ってほしいと思います。</p>	
<p>【テキスト】 講義時にテキストを配布する。</p>	
<p>【参考書】 講義時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1・博物館とは何するところ？</p> <p>①展示 ②行事・・・講座、子供教室、体験教室など。 ③市民との連携・・・博物館ボランティアの育成など。 ④市民への情報発信 ⑤学校教育との連携 ⑥資料の保存・整理 ⑦研究</p> <p>2・博物館が出来るまで</p> <p>3・さまざまな博物館・・・野外博物館、テーマパーク、水族館、科学館、歴史博物館、民俗博物館、民具展示施設、平和博物館、エコミュージアム、デジタルミュージアムなど。</p> <p>4・展示はどうやって準備するの？・・・展示が出来るまで</p> <p>①常設展示 ②特別展示・企画展示</p> <p>5・博物館の資料整理と研究活動</p> <p>6・博物館の仕事を実際に見てみよう</p> <p>7・博物館の展示を実際に見てみよう</p> <p>8・博物館ボランティアと話してみよう</p> <p>* 講義だけでなく、何回か、博物館・美術館の見学に出かけます。また、地域博物館での学芸員の仕事の見学・体験学習を、地域博物館に出向いて行います。</p>	
<p>【評価方法】 平常点とレポートによる評価。</p>	

【授業科目】 労働・健康特講	
【開講期】 後期	【担当者】 木元稔
<p>【授業目標】</p> <p>生涯を通じて自立と生きがいをもったアクティブライフが期待されているが、ボランティア、雇用、健康づくり、余暇・生涯学習、金融・税金・年金、福祉情報などの多様な科目を学ぶことにより、これから社会に巣立つ学生にとっては社会人としての基礎的な知識を身につける。</p> <p>また「生きがい情報士」の資格取得を目指す場合は、CD-ROM を駆使してパソコンによる生きがいづくりの情報提供を学ぶ。0</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「生きがい情報士養成テキスト」1・2</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>[テキスト1]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢社会と生きがいづくり 2. 社会参加とボランティア 3. 就労と中高年雇用対策 4. 健康づくりと生活習慣病 5. 余暇と生涯学習 6. 経済金融と税金・年金 7. 食生活と運動・休養 8. 福祉相談と介護保険 <p>[テキスト2、資格取得の場合]</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 社会福祉援助技術 10. 調査広報・イベント技術 11. ライフプラン技術 12. パソコンによる演習 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験により評価する。</p>	

現代保育教養コース
教養教育科目（2年）

【授業科目】 選択外国語 英会話（応用）	
【開講期】 2年 前・後期	【担当者】 サラ・ブロック
<p>【授業目標】</p> <p>大学で英語を学ぶと英語が楽しくなります。</p> <p>もっと会話をし、自分のこと、周りのこと、日本のことを外国のかたに伝えること、そして英語を話す外国のかたと楽しく交流できるようになること（例えば就職先に外国のかたが訪ねて来た時、パニックにならず平然とした態度で「can I help you?」と言えるようになること）が目標です。</p> <p>力を伸ばすためにはチャレンジが必要なので難しくなりますが、わざと難しくはしません。</p>	
<p>【テキスト】 プリントを配布</p> <p>（講義を休んだ場合は学生同士でコピー等してください。）</p>	
<p>【参考書】 和英辞典・英和辞典（電子辞書使用も可）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>様々な応用英語をします。</p> <p>英会話（基礎）と同じプリントで、深く発展する場合があります。</p> <p>散歩（学外授業）をし、外の空気を吸いながら、周りの自然を英語で表現、説明します。</p> <p>ニュースを読み、自分の意見を述べます。</p> <p>歌を聴いたり歌ったりして、その意味を探ります。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>インタビューテスト、提出物、夏休みの課題、スキットを行う可能性もあり</p>	

【授業科目】 選択外国語 フランス語会話	
【開講期】 前期 後期	【担当者】 村山知恵
<p>【授業目標】 フランス語を1年間学んだ学生も、フランス語が初めての学生にも、フランス語を学ぶ楽しみを味わってもらいたいです。フランス語は、今まで勉強してきた英語と同じアルファベットを使い、文法も非常に似ていながら、発音が全然違い、その文化や歴史、人々の考え方も大分違います。そんなことをフランス語を学びながら感じる事ができれば、居ながらにして外国の人と触れる喜びが広がると思います。</p>	
<p>【テキスト】 " Bienvenue en France I" (ビデオ教材) ビデオは大学にあります。 Hatier/Didier</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 仏和辞典</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>*はじめは発音練習 (プリントによって説明します) *次に教科書に入ります。 *授業の最初には必ずビデオ (10分ほど) を見ます。その内容を理解するように努めます。 *各課についている文法練習 (テープもついてます) をします。 *各課についているフランス文化の紹介を読みます。 *最後に各課のビデオのストーリーを訳してみましよう。 *全部で13課ありますが、前期に6課、後期に残りを修了できるように努力します。 すべてフランス語で書かれていますので、はじめは大変だと思うかもしれませんが、いつの間にか辞書を引くのが楽しくなるとよいと思います。</p>	
<p>【評価方法】 前期後期ともレポートによって成績を評価します。</p>	

【授業科目】 選択外国語 ドイツ語会話	
【開講期】 2年前期・2年後期	【担当者】 濱野 英巳
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>清野智昭著「ドイツ語の時間〈文法編〉」(朝日出版社)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用した様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 読み・聞き取りの練習—最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。 2. 文法の学習—必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。 3. トピックの紹介—文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。 4. ディスカッション—各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。 <p>注：通常は「外国語ⅠⅡ ドイツ語」の続編として、自己表現に重点を置いたより発展的な学習を行うが、今年度に限り、上記の内容でドイツ語の基礎から始める。履修者の希望によっては、後期から会話表現の学習を交えることも可能。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。</p>	

【授業科目】 選抜外国語(英文講読)	
【開講期】 通年	【担当者】 藤田久美子
<p>【授業目標】 様々な雑誌, 新聞記事等から選んだ多彩なトピックで構成されているテキストを讀みこく事, さらに読解の力を付けていくことを目標としている。</p>	
<p>【テキスト】 (Read and Think About 20) 「Reading Communicator」 (Current Topics) (三修社)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>このクラスは 4年制大学への編入希望の学生を対象とするクラスである。</p> <p>クラスでは, 上記テキストを主に使いつながら, 英文を讀みこく訓練を積み重ね, その内にだんだんに読解の作業に慣れ, また, 多少早く, 容易に理解(こくこと)出来るようにしたいと思っている。</p> <p>文章を讀むという事は, その間から題と想像力を使っているという事である。その文章が英語で書かれたものであれば, さらにさらに「英語の稿文」という条件が加わるので, さらに難しく感じるのは致し方のないところである。よって十分な予習を行ったり必要が出てくる。出席者はよく調べ考えながら十分予習をし, 分からないところは自分でチェックして授業に臨んでほしい。</p> <p>授業は言(こ)も(ら)たり, あるいは内容についての(こ)ら(ら)の質問に答(こ)も(ら)たりしながら進めたい。</p> <p>その他 讀むに慣れると思われ(る) = 2-2記事などをコピーして取り, 讀みこく(る)機会も持(も)た(い)と思(お)う。</p>	
<p>【評価方法】 出席状況, 平常の練習問題の結果, また学期末のテストの結果を総合的に評価する。</p>	

現代保育教養コース
専門科目（2年）

[授業科目名] メディア社会と子ども	
[開講期] 現保 2 年 ・ 前 期	[担当者] 八木 紘一郎
<p>[授業目標]</p> <p>保育現場では、実は多種多様の「メディア」を数多く活用していることに着目して考察する。子ども・保護者・地域・職員をつなげる多種多様なメディアについて、また、マスメディアのテレビやゲーム等、メディア環境との関わりについても考察する。</p>	
[テキスト・参考書]	
授 業 計 画	
<p>1、園生活の中で活用されている保育のための「メディア」活用事例を取り上げて考える。</p> <p> 子どもの個人マーク</p> <p> 靴箱のマーク</p> <p> クラス名のマーク</p> <p> 日々の暮らしのためのさまざまなマークと掲示</p> <p>2、活動の展開や見通しをもつために作成された「メディア」</p> <p> カレンダー、予定表、活動の分担表、流れの説明図などの数々</p> <p>3、園と家庭とをつなげる「メディア」</p> <p> クラス便り、園便り、お知らせのちらし、ポスター</p> <p>4、地域と連携する「メディア」活用 ホームページなど</p> <p>5、メディアとしての人の存在</p> <p> メディアとしての保育者</p> <p> 鬼ごっこの鬼、その楽しさを伝える役、劇活動などの難しい役のオモシロサを知るきっかけになる役割、多様な理解をサポートする役割</p> <p>6、メディア社会の功罪</p> <p> デジタルメディアと家庭文化</p>	
<p>[評価方法]</p> <p> 平常点</p>	

【授業科目】 子どもの歴史	
【開講期】 2年後期	【担当者】 平賀明彦
<p>【授業目標】 今回の私たちの周りの子どもたちは恵まれた状況にいるだろうか。経済生活や教育制度、子どもの人権といった面では確かに色々なものが整備されているように見える。しかし、一方で虐待や子どもの自殺、いじめや不登校などの報道に接しない日はない。世界に目を広げて見れば、戦争や貧困、飢餓による最大の被害者は子どもたちである。子どもたちを中心にこれまでの歴史をたどって見ることで、現在の子どもたちを取り巻くこういった状況がなぜ生まれたのかを考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】 特に定めない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 多数あるのでその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>主として日本の歴史に即しながら検証していくが、比較史的観点も含め、できるだけ視野を世界に広げながら、今の子どもたちの状況を歴史的に明らかにしていきたい。大きな柱立てとしては以下のような内容を考えている（但し順序と力点の置き方は未定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども観の歴史－子どもはどう見つめられて来たか ○子ども研究の歴史－子どもが研究・分析の対象となったのはいつ？ ○「7歳までは神」の時代－原始から古代への移行期の子ども ○「小さな大人」としての扱い－働く子どもたちにとっての遊びは？ ○「戦人」となるのは何歳から？－武家社会の中の子どもたち ○乱世の最大の被害者－逃げまどい、間引かれる子どもたち ○息苦しい社会のしくみの中で－身分制社会の町人・農民の子どもたちの生活 ○育児論の誕生－子育て論・教育論、社会政策の対象となった子どもたち ○学校の始まり－近代教育の始まりと子どもの生活 ○幼稚園・託児所の登場－家庭での保育と幼児教育の成立 ○近代社会の歪みの中で－貧困・差別の中の子ども生活 ○15年戦争下の「少国民」－軍国少年、増産戦士、そして空襲・学童疎開 ○高度成長と開かれた競争社会－学歴社会と歪んだ教育 ○低成長と閉塞した競争社会－生き残り競争の子ども世界への移譲 ○新たな子ども文化の創造は－マス・コミ、デジタル文化の中の子ども 	
<p>【評価方法】 学期末にレポートを課す。その他、話しのまとまりごとに小レポートを課すことがある。</p>	

【授業科目】 子育て支援論	
【開講期】 垣内＝前期集中、瀧口＝前期前半	【担当者】 垣内 国光、瀧口美智代
<p>【授業目標】</p> <p>≪垣内≫ 1. 子育て困難・子育て不安など子育て支援のニーズを理解する。 2. 子育て支援施策の概要を理解する 3. 子育て支援実践事例を学ぶ</p> <p>≪瀧口≫ 1. 親が子育てを楽しいと思うとき、幸せと感じるときを知る。 2. 親が子育てに不安を抱くときを把握する。 3. 親が子育てに困っていることを把握する。 4. 親の悩みや不安を解消する手立てについての支援を考える。 5. 子育て支援のシミュレーションを作成する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>≪垣内≫ 垣内国光・櫻谷真理子編著『子育て支援の現在－子育てコミュニティの形成を目指して』ミネルバ書房</p> <p>≪瀧口≫ さいたまコープ編 『子育て わたし流』 さいたまコープ(500円)</p>	
<p>【参考書】</p> <p>≪瀧口≫ 子どもの権利条約をすすめる会編『ポケット版 子どもの権利ノート－国連「勧告」掲載－』子どもの権利条約をすすめる会(300円)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>≪垣内≫ 1. 子育て支援がなぜ必要か 1) 子育ての孤立と不安定 2) 働く母親が主流に 3) 私たちの未来をイメージする</p> <p>2. 少子化問題と子育て支援 1) 低下し続ける合計特殊出生率 2) 日本の子育て支援の政策意図 3) ビデオ</p> <p>3. 日本の子育て支援の現状 1) 子育て支援とは 2) エンゼルプラン 3) 少子化2法 4) 日本の子育て支援の問題点 5) ビデオ</p> <p>4. ビデオで見るスウェーデンの子育て支援 1) ビデオ 2) 班討論と時間内レポート</p> <p>≪瀧口≫ 1. まず初めに、テキストなどを基にして、親が子育てにどのような悩みを持っているのかを、具体的に知る場を作ります。 2. それらの悩みの背景に何があるのか、それらを解決するためにはどのような手立てが必要なのかをグループ討議やミニワークショップを取り入れて考えます。 3. 親の子育ての悩み、とりわけ母親の育児不安がどのような環境によって引き起こされるのか、子どもの発達や夫婦間、家事分担のあり方、地域社会とのかかわりなどを問いながら、その解消の道筋を考えます。 4. デンマークやイギリスなどの諸外国での子育て支援の実際を学び、子育ての支援には何が大切か、どんな点に目を向ける必要があるのか、日本の子育て支援にも取り入れたい考え方やシステムについて検討します。 5. 人類の誕生以来続いている子育ての営みを、歴史的な視点からとらえ直し、心理的、身体的、ネグレクトの虐待を防ぐ親子関係、とくに母子関係のあり方を考えます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>≪垣内≫ 教科書に関するレポート及び授業中に提出していただくミニレポートを40%、テストを60%程度の総合点で評価します。</p> <p>≪瀧口≫ ミニワークショップを含めた平常点とレポートを提出してもらいます。</p>	

【授業科目】	子どもと人権	
【開講期】	前 期	【担当者】 武 藤 健 一
【授業目標】	<p>現在の日本社会においては、「子ども受難の時代」とも言われている。特に近年、社会的にも問題となっている「子どもの虐待」をみれば確かにそうなのだろう。</p> <p>それでは、「子どもの虐待」などの「子どもの受難」がなぜ起きているのだろうか。その問題の根源に迫るため、子どもの人権を考えるわけですが、その人権と家族との関りに着目しながら、そして現代の状況を踏まえながら、子どもにとっての人権・家族のあり方を探求する。</p>	
【テキスト】	レ ジ ュ メ 配 布	
【参考書】	授業の進度に従い、適時紹介することにします。	
授 業 計 画		
<p>現時点で、授業の具体的な内容は未確定ですが、取り上げる項目・内容は以下の通りです。</p> <p>I 子どもの権利条約 ～ 日本も批准しているこの条約について、その内容を紹介し、かつ検討する。</p> <p>II 子どもの虐待 ～ 近年増加しているこの社会問題を検討する。 ① 現状の把握 ② 虐待と法律 ③ 虐待と家族</p> <p>III 子どもの人権と家族 ～ 子どもの人権の問題を考える前に、人権そのものと家族(単位)との関係を明らかにする。それを踏まえて、子どもの人権と家族の関係を明らかにし、子どもの人権の保障のための家族や社会のあり方を展望する。</p> <p>注 1) 受講者数によりますが、講義・ディスカッション等のどの形式にするかを受講者と相談して決めたいと思います。</p> <p>2) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。</p> <p>3) 飲食など、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべり・遅刻(10・15分過ぎ)などは絶対に許されません。</p>		
【評価方法】	<p>出席・平常点を重視し、試験点を加える形で成績をつけます。</p> <p>出席点+平常点：学期末試験(形式未定)=2：1</p>	

【授業科目】 多文化社会と子ども	
【開講期】 2 年 後期	【担当者】 瀧口 優
【授業目標】 1. 子ども達が様々な文化の中で生活していることを理解する。 2. とりわけ日本において外国籍の子どもがどのようにアイデンティティを保持していくのか考える。	
【テキスト】 『多文化子どもの歌集』（明石書店）	
【参考書】 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
1. 様々な国と文化について触れる。 2. それぞれの国における子どもの歌を手がかりに文化を考える。 3. 歌を学ぶ中で、多文化の子ども達が共生する姿を実践的に理解する。 4. それぞれの国の言葉について理解を深める。 * 日本の子どもの歌も取り上げ、それぞれの言葉でどのように表現されるかも考えてみたい。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 児童文学の世界	
【開講期】 2 年 後 期	【担当者】 城戸 典子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童文学とは何かについて、またその根底となる「子ども観」「子ども性」について考える。 2. 世界と日本の児童文学や絵本を読み、子どもに本を手渡すための基礎知識を学ぶ。 3. 伝承的な昔話やわらべ歌の持つ本質的な意義を理解する。 4. アニメやリライト版などと原作との関係や、出版、流通の仕組みを学ぶ。 5. 世界と日本の現代児童文学を通して、家族、女性、戦争と平和などさまざまなテーマを考える。 	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のつど、レジュメと作品のコピーを配布する。できれば映像資料も使用する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>長谷川潮・きどのりこ編著『子どもの本から「戦争とアジア」がみえる』</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 古典的な児童文学の現代における受容について <ol style="list-style-type: none"> (1) グリムとアンデルセンについて (2) イギリス児童文学の歴史、特にファンタジーを中心に (3) 名作のアニメ化、特にディズニーの影響について 2. 伝承文学としての昔話、わらべ歌、また子どものための詩について <ol style="list-style-type: none"> (1) マザー・グースをめぐって (2) 日本の伝承の昔話、わらべ歌について (3) 子どものための詩、いわゆる「少年詩」について 3. 現代の児童文学—その魅力を探る <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童文学と家族、ジェンダーの問題をめぐって (2) ファンタジーとよばれる作品の多様性について (3) 児童文学にみる差別、戦争などの社会的問題 (4) 現代の世界と日本の児童文学、その新しい傾向と問題点について 4. 子ども観の変遷と「子ども性」(チャイルドネス)を考える <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもとは何か、子どもに向けた文学とはどのような意味を持つのかについて (2) 表現メディアとしての絵本とその歴史について (3) 子どもと本との媒介者の役割について(親、保育者、教師、図書館員、地域文庫、編集者など) (4) 子どもの本はどのように作られるか(出版・流通の現場について) (5) 「子ども性」とは何かを、すぐれた児童文学作品を通して考える 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況とレポートにより評価する。</p>	

【授業科目】女性労働と子育て	
【開講期】2年 前期	【担当者】富永静枝
<p>【授業目標】</p> <p>卒業後保育者をめざし・自らも働く女性として社会参加する学生達に、いま働く女性たちがおかれている状況や働きながら子育てをする母親や父親の抱えている問題を理解させる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>厳しい不況下にある日本経済の下で、いま男女の雇用環境は大きく変化している。少子高齢化が急速に進み、男女の生き方も多様化し、働く女性が急増している。しかし厳しい雇用情勢の下で、男性の長時間労働は常態化し、家事・育児の責任は相変わらず女性の双肩にかかっている。このような中であって育児・介護休業法が施行され、国や地方自治体などによってさまざまな子育て支援政策が打ち出されている。しかし相変わらず、出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立はまだまだ困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える諸問題を明らかにし、男女がともに働きながら育児参加をするにどうしたらよいか—これからの男女共同参画社会のあり方や社会システムのあり方について学習する。(なおこの授業の対象者である教養科保育教養コースの学生は、実習及び時間割の都合で教養教育の「女性労働の問題」の受講が不可能だったため、一部重複する部分があります。他科や他コースの学生で聴講を希望する学生はそのことを留意して聴講してください)</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、自立について—働くことの意味を考える— 2、働く女性の現状と課題 3、雇用機会均等法、育児・介護休業法を中心に女性労働関係法について学ぶ 4、子育て支援策の国際比較 5、これからの家族のあり方—男女の家族的責任について 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 うた・おとの世界	
【開講期】 2年前期	【担当者】 奥村直子
<p>【授業目標】</p> <p>幼児が身近な環境に働きかけ、歌ったり、音を楽しむ世界を、事例に即して理解する。同時に、そうした表現世界を豊に引き出す指導法について学ぶ。具体的には、子どもとの歌づくり、楽器づくり、手遊び、発表会などのアイデア、展開の仕方を取り上げる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントなどを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針と領域「表現」 2. 領域「表現」と音楽 3. クリエイティブ・ミュージックⅠ 4. クリエイティブ・ミュージックⅡ 耳をすまそう（イヤークリーニング） 5. 音をさがそうⅠ（ボディーパーカッション） 6. 音をさがそうⅡ 7. 音を作ろうⅠ（絵楽譜・ペーパー・グループで） 8. 音を作ろうⅡ 9. 楽器を作ろうⅠ（身近なものを使って） 10. 楽器を作ろうⅡ 11. 歌ってあそぼうⅠ（手あそび・指あそび） 12. 絵本に音をつけようⅠ（グループで） 13. 絵本に音をつけようⅡ（グループで） 14. 絵本に音をつけようⅢ（グループで） 15. まとめ（全授業を振り返る） 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業内での活動、発表の様子、提出物などを総合して評価する。</p>	

【授業科目】 幼児の身体表現	
【開講期】 後期	【担当者】 松村朋子
<p>【授業目標】</p> <p>幼児教育における「身体表現」のねらいを把握し、実習を通して、幼児がリズムカルな身体活動を楽しみ、情緒豊かに育っていくように、その指導法について学習していく。また、受講生自らも楽しみ、リズム感を高め、柔軟な身体づくりを心がけ、表現力豊かな保育者としての資質を高めてほしい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。随時プリントを配布の予定。初回に B5 サイズのノートを持参。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①自らの運動機能を高める。</p> <p>ストレッチやエアロビクスエクササイズで、指導者として必要な柔軟性やリズム感を養う。スキップ、ツーステップ、ギャロップなど簡単な動きを修得し、基本的な身体づくりを行う。</p> <p>②遊びの体験</p> <p>歌あそび、表現あそび、リズムあそび、手遊び等を体験して、表現の基礎を学ぶ。</p> <p>例) 大きな栗の木の下で、お弁当箱のうた、動物体操、ジャンケン列車</p> <p>③リズム運動</p> <p>フォークダンスや体操を通じて、音楽に合わせて、規則的に動く能力を養う。</p> <p>④創作表現</p> <p>簡単な童謡に、幼児の年齢に適した動きを使って、お遊戯や踊りを創作する。</p> <p>⑤遊具制作、折り紙</p> <p>身体表現の発表のために使う、簡単な折り紙や壁面構成の造作、衣装などの制作を行う。</p> <p>*高校の体育授業に準ずる服装、シューズで受講すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①出席状況 ②受講態度 ③発表、ノート提出</p>	

【授業科目】 運動遊びの指導	
【開講期】 2年後期	【担当者】 河鍋 馨
<p>【授業目標】</p> <p>「遊び」という言葉は、日常生活のなかで軽く使われている。しかしながら、幼児の教育・保育の場面では指導内容として重要な位置をしめる。その理由は、ホイジンガやカイヨワの研究を初めとした多くの指摘に見られるように、遊びは文化そのものであり人間研究の一方法となるからである。したがって、幼児教育の場において「遊び」は欠くことのできないプログラムなのである。本講では、上記のことを念頭におき、主として身体運動を伴う遊びを理解し、幼児の遊びの場において「適切な援助」ができるよう、資質の向上をはかることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。 必要に応じて資料を用いる。</p>	
<p>【参考書】 「ホモ・ルーデンス」 ホイジンガ、中公文庫。「遊びと人間」 カイヨワ、講談社文庫。「遊びの心理学」 ピアジェ、黎明書房。「遊びの文化人類学」 青柳まちこ、講談社現代新書。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「遊び」を考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 「遊び」と文化 2) 遊びの形態と展開 3) 発育・発達と遊び 4) 幼児の遊びの世界 2. 「健康・体力」と遊びを考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康と病気のメカニズム 2) 体力をどう捉えるか 3) 運動遊びと健康 3. 「運動遊びと用具」の利用を考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 遊具（器具、手具、用具）のメリット・デメリット 2) 固定遊具、大型遊具、小型遊具 3) 運動遊びと安全 4. 「環境。自然物」の利用を考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 何が、どのような「遊具」になるか 2) 保育者・養育者の関わり 3) 運動遊びの評価 5. まとめ 	
<p>【評価方法】 主として出席とレポートによるが、発問に対する応答の良否を成績に加味する。</p>	

【授業科目】 伝承遊び入門	
【開講期】 2年前期	【担当者】 木村 はるみ
<p>【授業目標】</p> <p>わらべうたを中心に、日本文化の中で伝承されてきたあそびを扱います。</p> <p>「伝承されてきたあそびが、なぜ子どもにとって必要なのか」理論を知ると共に、遊びを出来るだけ沢山覚えて、使えるようにしていきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>木村はるみ、蔵田友子 著「わらべうたと子ども」古今社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(A) あそばせあそび（大人が子どもにする遊び）</p> <p>(B) 仲間と遊ぶあそび</p> <p>(C) こもりうた、歌ってやるうた</p> <p>(D) わらべうた、伝承あそびが持つ意義と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わらべうたとは何か、伝承あそびとは何か ・ 運動発達の観点から ・ 言語発達の観点から ・ 社会性の観点から ・ 音楽の基礎を知る <p style="margin-left: 40px;">* 毎回、あそびを行います。（A～Cを組み合わせて）</p> <p style="margin-left: 40px;">* （D）の理論はあそびを行いながら扱っていきます。</p> <p style="margin-left: 40px;">* 動きやすい服装、履物で参加のこと</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業の出席態度と期末試験</p>	

[授業科目] 幼児の絵画指導	
[開講期] 2年・後期	[担当者] 宮本朝子
<p>[授業目標]</p> <p>幼児期の「絵画による自己表現の意味」について理解する。 幼児の絵画表現についての見取り方と評価について理解する。幼児が自己を絵画に表現していく過程を大切にしたい指導や援助の言葉掛けを実践的に学ぶ。また、多様な絵画表現（平面表現）の方法を実践的に体験したり、制作したりする。</p>	
<p>[テキスト] *「幼児の絵画指導」においては、テキストは授業者が自作したのを使います。</p>	
<p>[参考書] *必要に応じて紹介します。常時は使用しません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>*多様な表現方法を学んで、自分のよさを見つける。絵画表現の楽しさを味わう。 (後期の幼児の絵画指導では、平面表現を中心に学ぶ)</p> <p>(1) 絵の具と彩色筆についての基本的な技術を修得する活動……楽しい表現の基礎 ①しゃぼんだま大会、②大なみ小なみ、③長い長い蛇の模様、④絵の具屋さん</p> <p>(2) 見る、観る、視る、活動を自分の手、自分の目、自分の心で学ぶ活動。 ①線描の材料を使って、身近に有る植物を見取る活動と評価。</p> <p>(3) モダンテクニック（多様な表現技法）について体験する活動。 ①スタンプング②コラージュ③マーブリング④デカルコマニーなど10種類程体験</p> <p>(4) モダンテクニックの方法で想像的な表現の作品を制作する。 ①「輝いて生きる私」をテーマに、体験したモダンテクニックの方法で自己表現する</p> <p>(5) いろいろな幼児期の絵画表現と鑑賞活動。 ①幼児の作品鑑賞、②コンピュータ・グラフィック</p>	
<p>[評価方法]</p> <p>(1) 授業資料に付けられた自己評価表の評価の視点に従って常時行う。 (2) 制作した作品の相互評価を（鑑賞活動）常時行う。</p>	

[授業科目] 遊びの造形	
[開講期] 2年・前期	[担当者] 宮本朝子
<p>[授業目標]</p> <p>幼児の自発的な活動としての遊びは、人間として心身の調和の取れた発達の基礎を培う重要な学習である。この考えに基づいて、幼児が身近な環境、素材や材料とかがわって自己を豊かに表現していく過程に関心を持つ。さらに、豊かな想像力から創造性を培っていく造形表現の指導方法について学ぶ。</p>	
<p>[テキスト] *「遊びの造形」授業の造形活動資料は、授業者が自作したのを使います。</p>	
<p>[参考書] *必要に応じて紹介します。常時は使いません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(前期の遊びの造形では、立体の表現を中心に学ぶ)</p> <p>(1) 線材としての紙を使った「遊びの造形」 ① カラーテープを使った多様な遊びの造形。② 編んでつくれるもの。</p> <p>(2) 面材としての紙を使った「遊びの造形」 ① 平面の紙を立体にする工夫。② いろいろな動物の表現。</p> <p>(3) 身近にある廃材を集めて、選んでかかわる「遊びの造形」 ① 浮かべて遊べる物をつくる。② わたしの好きな音のでる楽器(ペットボトル)</p> <p>(4) いろいろな粘土を使った「遊びの造形」 ① 土の粘土を使って遊んでみよう。② 紙粘土で飾るものをつくってみよう。</p> <p>(5) ダンボールを使った「遊びの造形」 ① 積む、並べる、つなげる、遊びの造形。② ダンボールの造形の活動計画作成。</p>	
<p>[評価方法]</p> <p>(1) 授業資料に付けられた自己評価表の評価の視点に従って常時行う。</p> <p>(2) 制作した作品の相互評価を(鑑賞活動)常時行う。</p>	

【授業科目】 児童文化演習	
【開講期】 2 年前期	【担当者】 木村 はるみ・神立 幸子
<p>【授業目標】</p> <p>《木村》</p> <p>「幼児の文学」を中心に理論と演習を行う。</p> <p>(A) 作品の種類</p> <p>(B) 表現の形態</p> <p>(C) 子どもの成長に合わせて文学的な行為が出来るようにする</p> <p>《神立》</p> <p>①子どもの絵本の見方を深める。</p> <p>②絵本の読み聞かせの実践。</p> <p>③子どもが親しめる詩の暗誦。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《木村》 木村 はるみ著「乳・幼児の言葉と文学教育」明治図書</p>	
<p>【参考書】</p> <p>《神立》 神立幸子「二十世紀の絵本の表現—本来のものに立ちかえる世界—」 武蔵野書房 2002 年</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>《木村》</p> <p>(A) ・お話（昔話・創作／共に日本、外国の作品） ・伝承詩 ・語呂あわせ ・即興話 ・詩 について</p> <p>(B) ・素話 ・読み聞かせ ・絵本 ・道具を使って ・人形劇 ・子どもの再現 について</p> <p>(C) ・年令の特徴と扱う作品</p> <p>(D) ・作品を語る</p> <p>お話や詩の楽しさを体験してもらう。また、理論を知って、自分たちも演習を行う。</p> <p>《神立》</p> <p>① 毎回、2～3冊の絵本について、その描かれ方や中身について、分析的に見ていく。</p> <p>② 絵本の読み聞かせを実践する。</p> <p>③ 毎回、1～2の詩、となえ文句を暗誦できるようにする。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>《木村》 授業の参加態度と理解度によって評価する。</p> <p>《神立》 発表、レポート</p>	

【授業科目】 児童文学演習	
【開講期】 後期	【担当者】 久保木 寿子
<p>【授業目標】</p> <p>日本の児童文学の中から、宮沢賢治の作品をとりあげる。 人間と自然・自己と他者・優しさ・ヒューマニティの問題について考え、 ことばとイマジネーションの豊かさを味わいたい。 賢治のメッセージの今日的な意味を捉えたい。</p>	
<p>【テキスト】宮沢賢治『童話集風の又三郎他十八篇』（岩波文庫） 『童話集銀河鉄道の夜他十四篇』（岩波文庫）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>概説</p> <p>①宮沢賢治という人 ②宮沢賢治の環境と時代 ③宮沢賢治の作品の概容</p> <p>演習</p> <p>採りあげる作品</p> <p>* どんぐりと山猫 <small>オイノもり さるもり むすどもり</small></p> <p>* 狼森と箕森、盗森 よだかの星 なめとこ山の熊 セロ弾きのゴーシュ</p> <p>* オツベルと象 * ざしき童子のはなし * グスコープドリの伝記 銀河鉄道の夜 など</p> <p>絵本・ビデオも参考にしたい。</p> <p>まとめ</p> <p>④宮沢賢治の作品の今日的な意義について考える。</p> <p>* * 短い作品が多いので、どんどん自分で読んで、演習に積極的に参加すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・発表・授業メモ・レポート</p>	

【授業科目】 保育内容・指導法演習	
【開講期】 2年前期	【担当者】 藤井富貴子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育現場での保育内容指導法を学ぶ。 2. 実習での体験を生かして、話し合い討議する等で、より確かなものへしていき、現場での保育に生かす。 	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ○ あそびを通しての子どもたちの生活の再認識 ○ わらべうたをなぜするのか ○ 課業（領域）をどの様に考えているか ○ 総合的活動のとらえ方 ○ 親との関わり方 ○ 指導案の考え方、立て方 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート（授業の中でする）</p>	

現代保育教養コース
他科開講科目（2年）
（カリキュラム表掲載分）

保育科受講の場合は保育科シラバスを参照して下さい。

【授業科目】 カウンセリング	
【開講期】 2年前期	【担当者】 林 潔
【授業目標】 カウンセリングは基本的には話し合い療法です。 カウンセリングの、基礎的な考え方と取り組み方について紹介します。	
【テキスト】 なし	
【参考書】 随時紹介します。	
授 業 計 画	
<p> カウンセリングは基本的には話し合い療法です。ただ助言をすることだけではありません。それでは話をするということに、どんな意味があるのでしょうか。 まず今日のカウンセリングの基礎である、ロジャースの来談者中心カウンセリングの原理と方法について紹介します。 カウンセリング・心理療法は2つのタイプに分けられます。 1. 人格中心の取り組み 2. 問題中心の取り組み 来談者中心カウンセリングは前者の方法です。 </p> <p> 基本的内容 1. 日常の相談とカウンセリング。特に助言をめぐる問題。 2. 話をするにどのような意味があるでしょう。 3. カウンセリング・心理療法の流れ。略史です。 4. VTR カウンセリングの進め方。ここでカウンセリングのイメージをつかみましょう。 5. ロジャースの適応、不適応モデル。どういふときに人は悩むのでしょうか。 6. ロジャースの人格についての考え方。人格変化の条件。そのもととなる「人格」とは？ 7. カウンセリングの方法。どういふふうに、問題に働きかけていきますか？ 8. カウンセリングの事例(1) 6. カウンセリングの事例(2) 7. カウンセリングの倫理 8. ここでロジャースの取り組みを離れて、最近盛んになってきている認知行動療法のあらましを紹介します。 なお認知行動療法は、心理学科の方は一部だぶりますが、後期の心理療法で取り上げます。 9. カウンセリングの倫理。プライバシーを扱うカウンセリングには、厳しい倫理が要求されます。その内容の紹介です。 </p> <p> 質問歓迎です。Mailも使ってください。アドレスは次ぎのとおりです。 hayashi@shiraume.ac.jp </p>	
【評価方法】 平常点、指定図書の小レポート、中間試験、期末のレポートで評価します。	

【授業科目】	障害児心理学	
【開講期】	2年後期	【担当者】堀江まゆみ
【授業目標】	<p>障害のある子や障害のある人の暮らしを支えるための心理学を学ぶ。特に、ライフサイクル（人生周期）の視点を持ちながら進める。授業では、各ライフステージ（幼児期～老人期）において障害のある本人や家族が現在社会の中で経験するライフイベントを知りながら、その背景にある障害の特徴や心理を理解していく。事例や本人・家族との話し合いなどを通して理解していく。</p>	
【テキスト】	授業の中で指定する	
【参考書】	授業の中で指定する	
授 業 計 画		
<p>授業は以下のように進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ノーマライゼーションと「障害」他、概念の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ ノーマライゼーション思想とソーシャルアプローチ；地域での暮らしを支える ・ 諸概念の見直しー「障害」とはなにか、「発達」とはなにか、「自立」とはなにか ・ ライフサイクル、ライフステージ、ライフヒストリーの視点とはなにか 2. 「障害」の特徴とその理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の教育的診断の意味と理解；支援のための障害理解ということ ・ 身体障害、知的障害、精神障害の概観 ・ 発達障害、DSM-IV、ICD-10の診断の意味すること ；広汎性発達障害の理解を中心にー高機能自閉症、アスペルガー症候群の理解 3. ライフステージからみた障害のある子・人と家族の心理とその理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新生児～乳児期 ；障害との出会いー出生前診断をめぐる論議、親の気づきと受容、子育て支援ネット ・ 幼児前期～後期 ；仲間とともにー幼稚園・保育所での生活、気になる子と障害特徴、療育と支援 ・ 学童期 ；共に学ぶー特別支援教育ということ ・ 青年期 ；働く場、暮らす場、余暇を楽しむ ・ 成人期 ；性と結婚、子育てをめぐる ・ 老年期 ；老いと障害 		
【評価方法】	授業の中でのレポート	

現代教養コース
専門科目（2年）

【授業科目】 ゼミナールⅡ	
【開講期】 2年前期・後期	【担当者】 平賀明彦
<p>【授業目標】</p> <p>1年次の課題を引き継ぎ、さらに時代を進める。その過程で、近現代史の中で、とくに取り上げてみたいテーマについて絞っていく。 後期には、それぞれのテーマについて報告し合い、討論をしながら日本近代の全体像に迫る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>前半はコピーで配ったテキストを用いる。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まずは、日本近代全体のアウトラインをつかみ、その上で、個別テーマについて絞り込みを行う。6月から7月頃に、それぞれテーマを決定する。 その上で、夏休み中に文献や史料の収集、検討を行い、後期の卒業研究に向けての準備を進める。また、同時に日本近代の全体像について、テキストを題材に議論を深め、個別テーマを追求するための基礎づくりを完成する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミ中の報告と小レポートによって評価する。</p>	

【授業科目】ゼミナールⅡ	
【開講期】2年 前期 後期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカを、白人男性の側から見るのではなく、ネイティブ・アメリカンやアフロ・アメリカンなどのマイノリティ集団、また女性の側から捉えなおす。自分の意見を説得力を持って発表する技能を身につけ、また、さまざまな意見を聞き議論することによって、一人一人の思考、発想法を高めていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じてプリントを配布する。各自が文庫本を読み進める。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>基本的には、1年次のゼミナール（テーマ：英語・アメリカ・文学）を踏襲する。</p> <p>すなわち、現在のアメリカ合衆国を理解するために、毎週アメリカに関する新聞記事を報告してもらい、そのニュースに関する歴史的・社会的背景を学んでいく。さらにアメリカを体系的に理解するため、プリントを使って情報を積み上げ、アメリカという国の特徴を明らかにしていこう。</p> <p>2年間で20の文学作品を読む作業を継続し、毎週担当者を決めて報告してもらおう。さらに2年生では、これら20の文学作品について書かれた論文を導入して、文学研究とはどのようなものかを理解していき、後期から始まる卒業研究の導入としたい。</p> <p>このような研究をすることによって、少しでもアメリカの現実が見えてくれば、この国が世界のあらゆる出来事に関与している今、現代世界のありようが見えてくるだろう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミナール内の発表、レポートだどに、出席点を含む平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 卒業研究	
【開講期】 2年 後期	【担当者】 専任教員
<p>【授業目標】</p> <p>学生各自が自主的に研究テーマを決めて、研究レポートを作成する（ただし、共同研究も可）。所属ゼミでの学習を基礎にすることが望ましい。</p>	
<p>【テキスト】</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>執筆に先立ちガイダンスを行い、研究の意義や叙述のしかたなど、一般的な事柄について指導する。ゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など、具体的に個別指導を行う。</p> <p>個別面談や中間発表会などで検討を加えながら、400字30枚以上のレポートにまとめ上げていく。レポート提出後、例年、教養科全体の発表会を行っている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。レポートについての面接を行うゼミもある。</p>	

【授業科目】 博物館の現場（博物館実習）	
【開講期】 2年前期	【担当者】 平賀・上野
<p>【授業目標】 1年次の学内実習を受けて、見学実習と館務実習に取り組む。見学実習は、それぞれ目的、性格を異にする、3～4の館に赴き、学芸員の仕事内容について詳しく説明を受け、資料収集、収蔵、展示のプランニング、ディスプレイの工夫、展示スペースのデザインなどが実際にどのように進められ、またどういった点で苦労や問題点を抱えているかを理解する。館務実習は、学内実習や見学実習の集大成として、それぞれが2週間程度、博物館での実務研修を行い、学芸員の仕事を体得することを目指す。</p>	
<p>【テキスト】 特に定めない。</p>	
<p>【参考書】 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『博物館学 実習マニュアル』芙蓉書房 など。</p>	
授 業 計 画	
<p>見学実習の日時、場所などについては後日決定する。館務実習に臨んでは、実習オリエンテーション及び事前学習を行う。とくに、館務による研修の心得や実習日誌の記載方法などを中心に学習する。 それぞれ、掲示によってスケジュールを発表するので見逃さないように。</p>	
<p>【評価方法】 1年次の学内実習、見学実習レポート、館務実習日誌などにより総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 ビジネスの現場	
【開講期】 2年 後期	【担当者】 富永静枝・小林洋子
<p>【授業目標】</p> <p>≪富永≫職業意識を高め、職業人としての基本的な心構えと、ビジネス実務を効果的に行うための能力を養う。</p> <p>≪小林≫社会人、企業人としての、基本的マナーを学ぶ</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>≪富永≫テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p> <p>≪小林≫特に指定はありません。ワークシート等を授業の進行に応じて適宜使用します</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>≪富永≫授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>●前半を小林、後半を富永がそれぞれ担当する</p> <p>≪富永≫</p> <p>I、コミュニケーション実務や情報の評価・収集・活用の方法、表現活動など オフィスワークの基本を、ビデオ教材などを活用して理解する。</p> <p>II、ビデオ『日本経済の軌跡』を使って戦後から現代までの日本経済のあゆみを理解するほか、経済記事の読み方などの学習をする。</p> <p>III、企業で求められるワーカーの要件を理解するために、企業見学や、「女性と仕事の未来館」の見学を行う</p> <p>IV、本学先輩たちを招いて職場の実態や仕事の内容、家庭と職業の両立などについて聞く予定。</p> <p>≪小林≫</p> <p>1. 自分自身を知る ・エゴグラムによる自己分析・ストローク ・バーバルコミュニケーション&のンバーバルコミュニケーション</p> <p>2. コミュニケーションの基本 ①挨拶 ②表情 ③身だしなみ ④言葉づかい ⑤態度</p> <p>3. さわやかな動作 ①立ちかた ②座り方 ③歩き方 ④お辞儀 ⑤物の授受 ⑥報告の指し示し方 ⑦案内の仕方 ⑧ドアの開閉 ⑨上席</p> <p>4. 発音発声・言葉の表現 ・敬語の使い方</p> <p>5. 指示の受け方、報告の仕方</p> <p>6. 電話対応の基本</p> <p>7. ビジネス文書の書き方</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>≪富永≫授業への参加状況、レポートなどの総合評価</p> <p>≪小林≫授業内で試験をします</p>	

【授業科目】 情報ネットワーク論	
【開講期】 2年後期	【担当者】 宮武 直樹
<p>【授業目標】</p> <p>情報化の波は否応無しに私たちの身の回りに押し寄せてきている。その基盤技術が情報ネットワークである。本講義では、身近に迫ってきた情報ネットワークを概観しながら、自分と情報ネットワークの関係を確認し、情報化社会の中で如何に生きていくかを学んでほしい。</p> <p>授業は、コンピュータを駆使しながら学習してもらう予定である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考書、参考文献を授業で紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報化社会とコンピュータシステムについて 2. 情報ネットワークとは 3. コンピュータと情報ネットワーク 4. 広域ネットワーク (WAN) について 5. ローカルエリアネットワーク (LAN) について 6. オンラインシステムとオフラインシステムについて 7. 高度な情報ネットワークの通信 (パケット通信、ISDN、ADSL など) について 8. インターネットの機能と利用法及び情報検索 9. 情報セキュリティ、情報倫理、電子記録および署名について 10. 日本語ワープロソフトについて 11. 表計算ソフトと データベースについて 12. パワーポイントによるプレゼンテーションの作成 13. HTML の基礎と簡単なホームページの作成 14. Windows システムとその操作方法 15. 定期試験 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出および出席状況などから評価します。</p>	

【授業科目】視聴覚教育メディア論	
【開講期】2年前期	【担当者】深水浩司
<p>【授業目標】</p> <p>現在、博物館や美術館、図書館では、その多くが視聴覚メディアを利用して展示や情報閲覧を可能にしている。また、教育的観点から考えても、視聴覚メディアの概要を知り、現実に用いられているテクノロジーに触れ、かつ、それらを利用できることは学芸員としても必須となりつつある。よって本講義では、視聴覚メディアの概要を理解し、PCを利用してこれらメディアに触れながら、理解を深めていくことを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要な場合は、授業で指定する。現在は、プリントを中心に進めていく予定である。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>コンピュータを利用した視聴覚技術は、博物館や美術館、図書館でも新たな時代を迎えている。また、学芸員や司書の役割を担う人々においては、これらの新しいメディアを利用して、教育を実践する能力が求められている。この授業と実習では、以上の事柄を前提に、1) 視聴覚教育メディアの現状をつかみ、2) それらメディアが実際に博物館や美術館でどのように利用されているかを調査し、3) 調査結果を Web ページ、または、プレゼンテーションソフト (Powerpoint など) でまとめ報告することを考えている。</p> <p>1) については講義方式で行う。ビデオや Web の閲覧をなるべく使いながら、文字や写真、図・絵では理解しづらい部分を補足し、概括を試みよう。</p> <p>2) は、受講生各自で行う作業となる。1) において学んだメディアが、実際に現場でどのように使われているかを調査してもらいたい。本来ならば、フィールドワーク的に現場に赴くことが一番だと思われるが、時間的に余裕がないので、Web 上にある様々な情報を、各自で検索・精査し、3) への準備としてもらいたい。</p> <p>3) の段階は、2) で入手した情報を、Web ページの形態かプレゼンテーションソフトを使用してまとめ、発表できるようにしよう。発表については、時間の余裕があれば各自で作成したものを実際に使ってプレゼンテーションしてもらおう。また、Web ページの作成、またはプレゼンテーションソフトの使い方についても、講義または実習の中で解説し習得していただく予定である。</p> <p>講義の分量よりは、実習の時間をできるだけ多くし、各自の技術をしっかり身に付けてもらいたい。できるだけ、まとまった時間で授業・実習を行いたいので、本講義は集中講義の形態をとる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、レポート、提出物等で評価する。</p>	

【授業科目】 応用英語 I	
【開講期】 前期	【担当者】 藤田 文美子
<p>【授業目標】 本業と学生生活の場面での日常会話を聞き取り、文型を中心に見直し、一方で「文型」「構文」を再確認しながら、日本語を組み立てていく作業もしたい。</p>	
<p>【テキスト】 『AIR WAVES』(Basic) (Macmillan Language house)</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>リスニングのテキストを主として使いながら、「電話」「買い物」「デート」「レストラン」その他本業と学生生活の場面での会話を聞き取り、又これ以外のテーマについて友人と意見を交換していく練習もある。</p> <p>また 基本文型に沿った構文の組み立てをもう一度確認し、しっかりと定着させ、自分でも日常の会話表現を作っていく練習をしたい。</p> <p>その他 優れた英語の歌を聞いて内容を確認し、英語の表現の、また 響きの美しさを味わう機会も随時持たせたいと思う。</p>	
<p>【評価方法】 出席状況、平常の練習問題の結果、また 学期末テストの結果を総合して評価する。</p>	

【授業科目】 応用英語Ⅱ	
【開講期】 後期	【担当者】 藤田久美子
<p>【授業目標】</p> <p>本教員が生活の場面での日常会話を聞き取っていく訓練を中心に 可成り、一方で「文型」「構文」を再確認しながら、口語英語を 組み立てていく作業もしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「AIR WAVES」(Basic) (Macmillan Language house)</p> <p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>リスニングのテキストを主として使いながら、「電話」「買い物」 「デート」「レストラン」その他本教員が生活の場面での会話を聞き取り、 又これ以外のテーマについて友人と意見を交換していく練習を する。</p> <p>また基本文型に沿った構文の組み立てをもう一度 確認し、しつかり定着させ、自分でも日常の会話表現を作っていく 練習をしたい。</p> <p>その他優れた英語の歌を聞いて内容を把握し、英語の 表現の、また響きの美しさを味わう機会も随時持つたいと 思う。</p>	
<p>【評価方法】 出席状況、平常の練習問題の結果、また学期末テストの 結果を総合して評価する。</p>	

【授業科目】 児童文学の世界	
【開講期】 2 年 後 期	【担当者】 城戸 典子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童文学とは何かについて、またその根底となる「子ども観」「子ども性」について考える。 2. 世界と日本の児童文学や絵本を読み、子どもに本を手渡すための基礎知識を学ぶ。 3. 伝承的な昔話やわらべ歌の持つ本質的な意義を理解する。 4. アニメやライト版などと原作との関係や、出版、流通の仕組みを学ぶ。 5. 世界と日本の現代児童文学を通して、家族、女性、戦争と平和などさまざまなテーマを考える。 	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のつど、レジュメと作品のコピーを配布する。できれば映像資料も使用する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>長谷川潮・きどのりこ編著『子どもの本から「戦争とアジア」がみえる』</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 古典的な児童文学の現代における受容について <ol style="list-style-type: none"> (1) グリムとアンデルセンについて (2) イギリス児童文学の歴史、特にファンタジーを中心に (3) 名作のアニメ化、特にディズニーの影響について 2. 伝承文学としての昔話、わらべ歌、また子どものための詩について <ol style="list-style-type: none"> (1) マザー・グースをめぐって (2) 日本の伝承の昔話、わらべ歌について (3) 子どものための詩、いわゆる「少年詩」について 3. 現代の児童文学ーその魅力を探る <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童文学と家族、ジェンダーの問題をめぐって (2) ファンタジーとよばれる作品の多様性について (3) 児童文学にみる差別、戦争などの社会的問題 (4) 現代の世界と日本の児童文学、その新しい傾向と問題点について 4. 子ども観の変遷と「子ども性」(チャイルドネス)を考える <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもとは何か、子どもに向けた文学とはどのような意味を持つのかについて (2) 表現メディアとしての絵本とその歴史について (3) 子どもと本との媒介者の役割について(親、保育者、教師、図書館員、地域文庫、編集者など) (4) 子どもの本はどのように作られるか(出版・流通の現場について) (5) 「子ども性」とは何かを、すぐれた児童文学作品を通して考える 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況とレポートにより評価する。</p>	

【授業科目】 ビジネス実務を知る	
【開講期】 2年前期	【担当者】 杉浦 允
<p>【授業目標】</p> <p>ビジネス実務は、経営管理を支える重要な役割を果たす仕事です。 このビジネスには何が必要か、 組織はどのように組めばよいか、 そこで働く人達は、どのように行動すればよいか など、ビジネスについての基礎知識と実務を処理する技術について 分かりやすく講義します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>毎時間、プリントを配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスとは、ビジネスとは何か、ビジネスの形態・種類について 2. ビジネス組織、組織とは、組織階層について、管理者の責任について 3. ビジネスの基本、システム概念、経営管理の諸要素、計画・実施・統制について 4. ビジネス倫理と経営方針、経営理念・社是社訓、企業の社会的責任、PRについて 5. ビジネスの職場、職場とは、仕事の処理、執務について 6. 企業が必要とする人材、望まれる人柄と人格、仕事に必要な技術について 7. 仕事の基本姿勢、上役を助け、同僚との協調、仕事の基本処理について 8. 環境変化への対応、情報化時代の環境変化、人間関係の変化について 9. 命令の受け方、報告の仕方、命令の受け方と報告の仕方について 10. 報告書の作り方、報告の計画・実行・検討、報告ミスについて 11. 行動予定の管理、日程管理、予定表の種類、アポイントメントについて 12. 交際業務、交際とは、慶事とは、その御祝い、表書きの書き方について 13. ビジネスマンの問題、問題解決のステップ、手順・種類・活用について 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席条件を満たした者に対して、試験を実施し合格点に達した者について平常点を勘案して評価する。</p>	

【授業科目】生涯学習概論	
【開講期】 2年前期	【担当者】中嶋みさき
<p>【授業目標】 教育の荒廃がいわれる現代では、改めて「教育」と「学習」との関係が問われている。この講義では、生涯学習とは何か、という問題を、教育思想の歴史的展開をおいながら、生活スタイルの歴史的変化などとあわせて検討し、生涯学習に関する基本的考え方を学ぶことにする。また生涯学習の具体的課題として、現在すすめられている教育政策をとりあげ、日本の現代社会における生涯学習の現状を明らかにし、参加者とともに生涯学習のあり方について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】 特になし。</p>	
<p>【参考書】 E. ジェルピ、海老原治善編『生涯教育のアイデンティティ』エイデル研究所 藤田秀夫編著『ユネスコ学習権宣言と基本的人権』教育史料研究会</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1, 生涯学習とは何か。</p> <p style="padding-left: 2em;">a) 「学習」概念の成立とその歴史的展開</p> <p style="padding-left: 2em;">b) 生活スタイルの変化と人間形成</p> <p>2, 生涯学習の具体的な課題</p> <p style="padding-left: 2em;">a) 教育基本法の理念と生涯学習</p> <p style="padding-left: 2em;">b) 生涯学習の機会と制度</p> <p style="padding-left: 2em;">c) 男女共同参画社会と生涯学習</p> <p>3, 「教養」の形成と生涯学習</p> <p>講義計画は、大きなテーマを中心としており、小項目については変更もありうる。</p>	
<p>【評価方法】 評価は、学期末のレポートを基本にするが、出席、講義内での小レポートを参考にする。</p>	

学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

教務課 042(346)5619